記者発表

令和2年11月19日
山形県道路メンテナンス会議

山形県内の橋梁等の2019年度（令和元年度）点検結果をとりまとめ

～山形の道路メンテナンス概要（2巡目第1弾）の公表～

2014年度より道路管理者は全ての橋梁、トンネル、道路附属物等について、5年に1度の点検が義務付けられています。2018年度に1巡目点検が完了し、2019年度から2巡目点検を実施しています。

今般、2巡目の初年度である2019年度の点検が完了したため、2019年度の点検結果、これまでの措置状況、道路メンテナンス会議の取り組み等を「山形の道路メンテナンス概要」としてとりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 2巡目点検初年度の点検は1巡目点検より進捗

- 2巡目点検の初年度となる2019年度の点検実施割合は、橋梁：18%、トンネル：13%、道路附属物等：17%を実施しており、1巡目初年度よりも進捗しています。
- 全道路管理者の2019年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）の施設数は、橋梁：177橋、トンネル：4箇所、道路附属物等：5施設となっています。

2. 地方公共団体の修繕等措置の着手率が5割

- 1巡目点検で判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された橋梁で、2019年度末までに修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省：100%、高速道路会社：75%、地方公共団体：54%となっています。

3. 5年間で早期又は緊急に措置を講ずべき状態に変化した割合は6%

- 1巡目の2014年度点検で判定区分Ⅰ・Ⅱと診断された橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度点検において、判定区分Ⅲ・Ⅳへ遷移した橋梁の割合は全道路管理者で6%となっています。

山形県道路メンテナンス会議では、点検結果を踏まえ、各道路管理者と連携して計画的なメンテナンスを引き続き実施して参ります。
山形の道路メンテナンス概要は、山形河川国道事務所ホームページ「記者発表情報」又は山形県ホームページ「報道発表」をご覧ください。

〈発表記者会：山形県政記者クラブ〉

〈問い合わせ先〉
山形県道路メンテナンス会議事務局
国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所
保全対策官　佐々木（ささき）　悟（さとる）　TEL 023-688-8421（代表）（内線403）
山形県県土整備部
道路保全課長　阿部（あべ）　真一（しんいち）　TEL 023-630-2610（直通）

〔道路メンテナンス年報〕

山形の道路メンテナンス概要



２０２０年 １１月

山形県道路メンテナンス会議

まえがき

山形県内の道路延長は、幹線ネットワークを構成する高速道路や一般国道から市町村が管理する生活道路まで約 17,500ｋｍにおよび、その中には約 9,400 の橋梁、約 160 のトンネル、約 540 の道路附属物等があります。また、その道路構造物の多くが高度経済成長期に建設され、道路構造物の老朽化は急速に進んでいます。

例えば、山形県内の建設後 50 年を経過した橋梁は、建設年次が不明な橋梁を除くと 2020 年 3 月末時点では約 2,400 橋で、全体の 27%ですが、20 年後には 73%の約 6,600 橋まで増加するため、老朽化対策の課題に早期に取り組むことが求められています。

道路構造物の老朽化対策は緊急的・社会的な課題であり、2014 年度から道路のメンテナンスサイクルの構築に向けた取組みが本格化し、2018 年度までの 5 年間(1 巡目)で、各道路管理者により計画的に点検が実施されたところです。引き続き 2 巡目点検を計画的に進めるとともに、点検結果を踏まえた補修・修繕等を実施していきます。

「山形県道路メンテナンス会議」は、県内の道路管理者が連携しながら、道路構造物の維持管理に対する技術力の向上、道路インフラの予防保全・老朽化対策を推進するための体制強化を図るために 2014 年度に設立し、これまで道路施設の定期点検計画の策定、点検業務の地域一括発注、点検・補修に関する見学会・研修会及び修繕の実施に取り組んできたところです。

2020 年 11 月の「山形の道路メンテナンス概要」は、山形県道路メンテナンス会議の取組みの一環として、2 巡目点検の初年度となる 2019 年度の県内道路施設の点検結果や老朽化の実態、1 巡目点検施設のメンテナンスの取組み実態をとりまとめ、県民や道路利用者に情報発信していくものです。

この「山形県道路メンテナンス概要」により、メンテナンスの取組みへの理解が深まり、道路メンテナンスの更なる推進に繋がれば幸いです。

山形県道路メンテナンス会議　会長
（山形河川国道事務所長）　竹下　正一

目　　次

１ 道路構造物の現状 1
（１）道路構造物の管理者 1
（２）道路構造物の急速な老朽化 1
２ 山形の道路メンテナンス概要について 2
（１）概要 2
（２）橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について 2
３ 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果 3
（１）2019 年度（単年度）の点検結果（全道路管理者） 3
（２）2019 年度（単年度）の点検結果（管理者別） 4
（３）2019 年度点検実施施設における判定区分の遷移状況 7
４ １巡目点検施設の修繕等措置の実施状況（2019 年度末時点） 10
（１）判定区分Ⅲ・Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況 10
（２）判定区分Ⅳの施設の措置状況 14
（３）修繕等措置の取り組み事例 15
（４）橋梁の損傷傾向 19
（５）個別施設計画の策定状況 21
５ 道路メンテナンス会議の取り組み 23
６ 資料編（東北と県全体の比較） 25
７ 巻末資料 34

表紙写真：国道 112 号　大越川橋（おおこしかわばし）

１　道路構造物の現状

（１）道路構造物の管理者

県内の道路には、橋梁やトンネル、道路附属物等といった道路構造物があります。このうち、橋梁の数が最も多く、約 6 割を市町村で管理しています。

表１－１　道路管理者別の道路構造物等内訳

管理者	道路延長 (km)	橋梁 (橋)	トンネル (箇所)	道路附属物等 (施設)	シェッド	大型カルバート	横断歩道橋	門型標識等
国土交通省	579	959	46	219	28	73	38	80
高速道路会社	182	336	40	171	14	123	0	34
県	3,461	2,428	57	128	26	24	26	52
市町村	13,258	5,748	18	22	6	11	2	3
合計	17,480	9,471	161	540	74	231	66	169

※2020 年 3 月末時点
※道路延長は「道路統計年報 2019」より集計

（２）道路構造物の急速な老朽化

橋梁やトンネル、道路附属物等といった道路構造物は、その多くが高度経済成長期に建設され、今後、これらの道路構造物の老朽化が急速に進みます。

特に構造物数の多い橋梁でみると、建設後 50 年を経過した橋梁は、現在 27%に対し、10 年後には 54%に増加するため、計画的・効率的なメンテナンスサイクルの構築が必要な状況です。

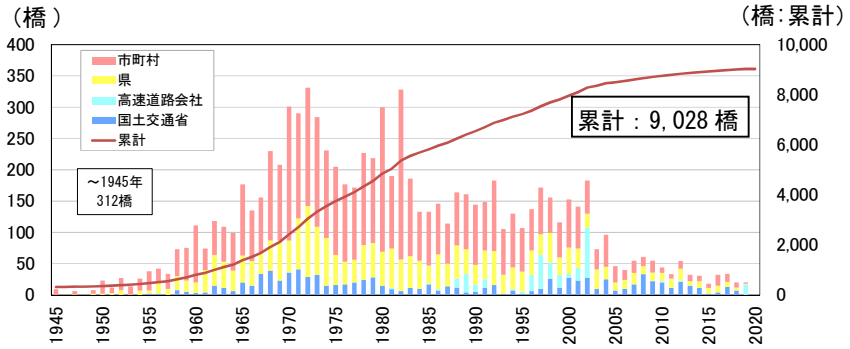
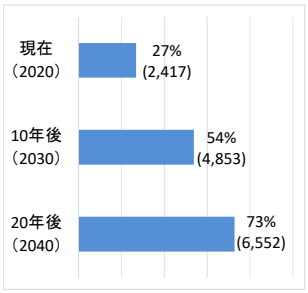


図１－１　建設年代別施設数（橋梁）



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約 400 橋ある。
（出典）道路局調べ（2020. 3 末時点）

図１－２　建設後 50 年を経過した施設の割合（橋梁）

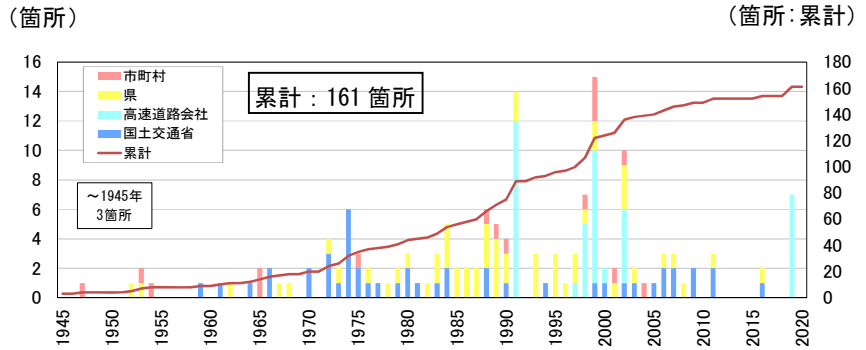
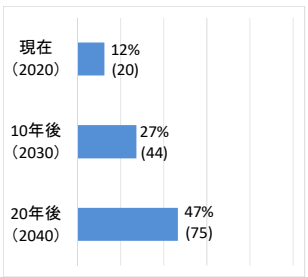


図１－３　建設年代別施設数（トンネル）



（出典）道路局調べ（2020. 3 末時点）

図１－４　建設後 50 年を経過した施設の割合（トンネル）

２　山形の道路メンテナンス概要について

（１）概要

○山形県道路メンテナンス会議では、県民・道路利用者に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「山形の道路メンテナンス概要」としてとりまとめています。

○橋梁・トンネル・道路附属物等※については、2014～2018 年度における 1 巡目点検（以降、1 巡目点検）が完了し、2019 年度より 2 巡目の点検に着手したところです。

○今回は、下記についてとりまとめました。

➢2019 年度（単年度）における点検結果

➢2019 年度点検実施施設における判定区分の遷移状況

➢1 巡目点検施設の修繕等措置の実施状況（2019 年度末時点）

○この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。

→地域毎のデータ、経年的な変化等、様々な観点から県内の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。

今後どのように措置していくのか。

→各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくことになります。

※道路附属物等：シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

（２）橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について

全ての道路管理者は、2013 年の道路法改正等を受け、2014 年 7 月より 5 年に 1 回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の 4 段階に区分します。

区分		状態
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。



写真２－１　橋梁点検状況



写真２－２　トンネル点検状況

３　橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果

（１）2019 年度（単年度）の点検結果（全道路管理者）

全道路管理者の 2019 年度の点検実施率は、橋梁 18%、トンネル 13%、道路附属物等 17%です。

判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ　44%、Ⅱ　46%、Ⅲ　10%、Ⅳ　0.1%、トンネル：Ⅰ　0%、Ⅱ　79%、Ⅲ　21%、Ⅳ　0%、道路附属物等：Ⅰ　58%、Ⅱ　36%、Ⅲ　6%、Ⅳ　0%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。（次頁以降も同様）

表３－１　2019 年度の点検実施率（全道路管理者）

	管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019 年度点検実施数	点検実施率※2
橋梁	9,471	9,324	1,714	18%　(12%)
トンネル	161	150	19	13%　(14%)
道路附属物等	540	498	85	17%　(8%)

※1：2020 年 3 月時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。　2020.3 末時点
※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。() 内は、2014 年度における点検実施率。

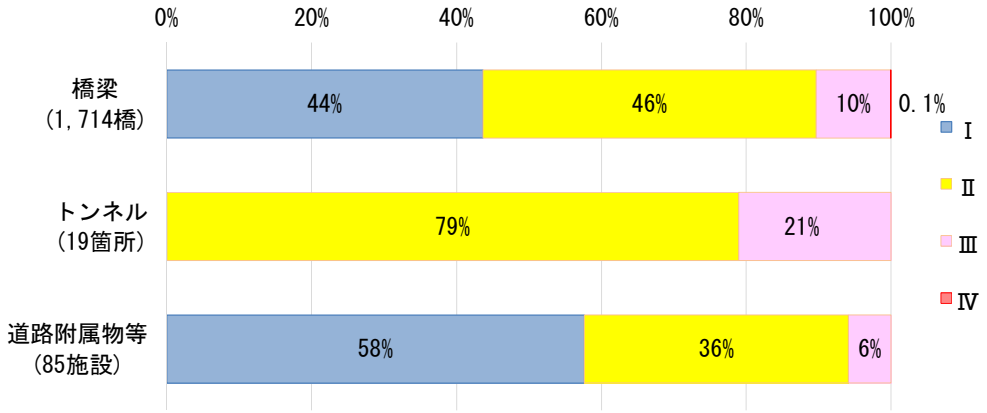


図３－１　2019 年度の判定区分の割合（全道路管理者）

※（）内は、2019 年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

表３－２　2019 年度の判定区分の割合（全道路管理者）

	2019 年度点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
橋梁	1,714	748	789	176	1
		44%	46%	10%	0.1%
トンネル	19	0	15	4	0
		0%	79%	21%	0%
道路附属物等	85	49	31	5	0
		58%	36%	6%	0%

2020.3 末時点

（２）2019 年度（単年度）の点検結果（管理者別）

①橋梁

橋梁の 2019 年度の点検実施率は、18%です。

判定区分の割合は、Ⅰ　44%、Ⅱ　46%、Ⅲ　10%、Ⅳ　0.1%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

表３－３　2019 年度の点検実施率（橋梁）

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019 年度点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	959	911	202	22%　(15%)
高速道路会社	336	319	68	21%　(6%)
県	2,428	2,394	356	15%　(10%)
市町村	5,748	5,700	1,088	19%　(13%)
合計	9,471	9,324	1,714	18%　(12%)

※1：2020 年 3 月時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。　2020.3 末時点

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。（）内は、2014 年度における点検実施率。

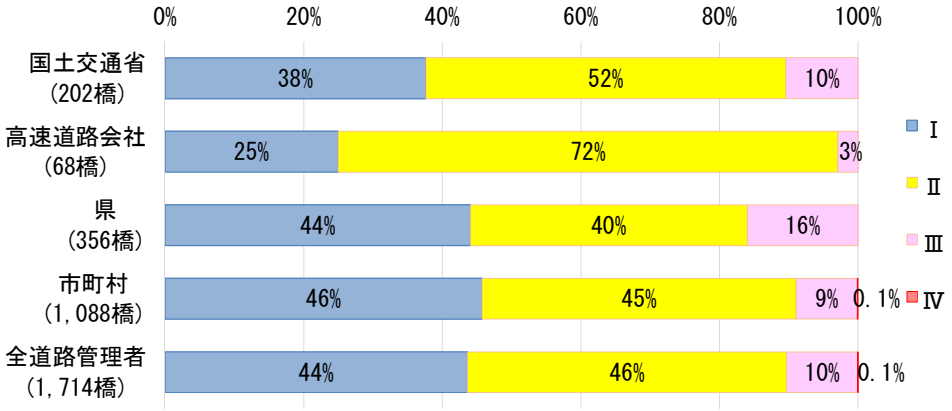


図３－２　2019 年度の判定区分の割合（橋梁）

※（）内は、2019 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

表３－４　2019 年度の判定区分の割合（橋梁）

管理者	2019 年度点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	202	76	105	21	0
		38%	52%	10%	0%
高速道路会社	68	17	49	2	0
		25%	72%	3%	0%
県	356	157	142	57	0
		44%	40%	16%	0%
市町村	1,088	498	493	96	1
		46%	45%	9%	0.1%
合計	1,714	748	789	176	1
		44%	46%	10%	0.1%

2020.3 末時点

②トンネル

トンネルの 2019 年度の点検実施率は、13%です。

判定区分の割合は、Ⅰ　0%、Ⅱ　79%、Ⅲ　21%、Ⅳ　0%です。

表３－５　2019 年度の点検実施率（トンネル）

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019 年度点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	46	43	9	21%　(24%)
高速道路会社	40	33	8	24%　(24%)
県	57	56	0	0%　(0%)
市町村	18	18	2	11%　(17%)
合計	161	150	19	13%　(14%)

2020. 3 末時点

※1：2020 年 3 月時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。
※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。() 内は、2014 年度における点検実施率。

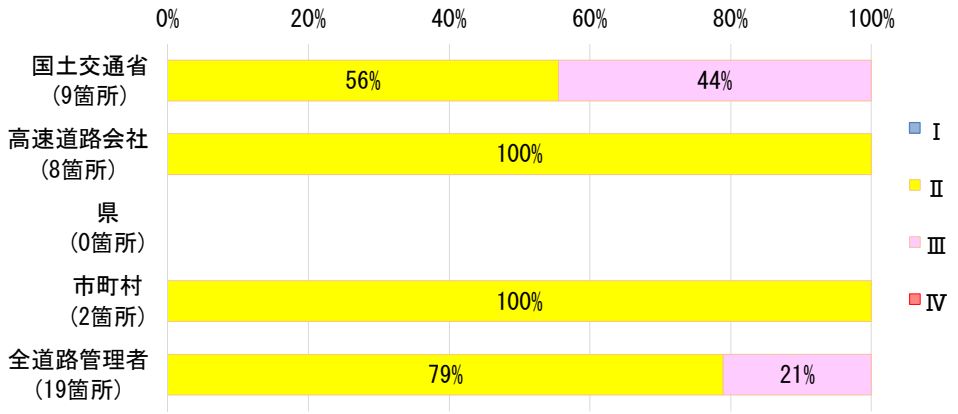


図３－３　2019 年度の判定区分の割合（トンネル）

※（）内は、2019 年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

表３－６　2019 年度の判定区分の割合（トンネル）

管理者	2019 年度点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	9	0	5	4	0
		0%	56%	44%	0%
高速道路会社	8	0	8	0	0
		0%	100%	0%	0%
県	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%
市町村	2	0	2	0	0
		0%	100%	0%	0%
合計	19	0	15	4	0
		0%	79%	21%	0%

2020. 3 末時点

③道路附属物等

道路附属物等の 2019 年度の点検実施率は、17%です。

判定区分の割合は、Ⅰ　58%、Ⅱ　36%、Ⅲ　6%、Ⅳ　0%です。

表３－７　2019 年度の点検実施率（道路附属物等）

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019 年度点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	219	196	14	7%　(1%)
高速道路会社	171	153	60	39%　(22%)
県	128	127	6	5%　(1%)
市町村	22	22	5	23%　(10%)
合計	540	498	85	17%　(8%)

※1：2020 年 3 月時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。　2020. 3 末時点
※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。() 内は、2014 年度における点検実施率。

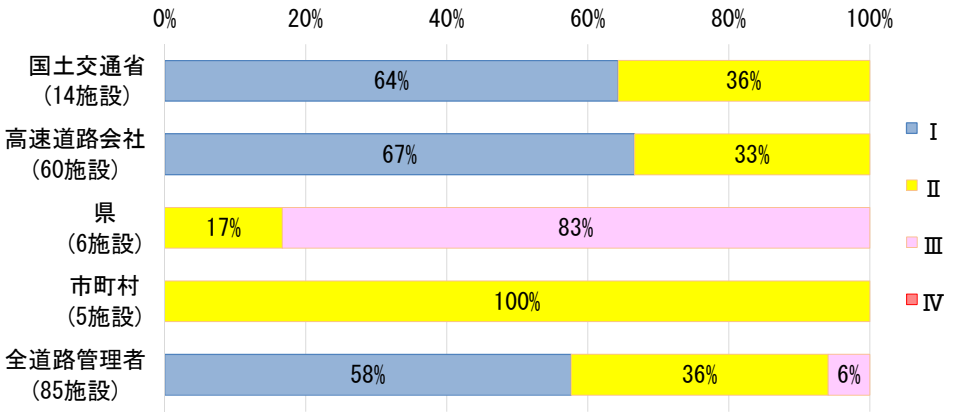


図３－４　2019 年度の判定区分の割合（道路附属物等）

※（）内は、2019 年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

表３－８　2019 年度の判定区分の割合（道路附属物等）

管理者	2019 年度点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	14	9	5	0	0
		64%	36%	0%	0%
高速道路会社	60	40	20	0	0
		67%	33%	0%	0%
県	6	0	1	5	0
		0%	17%	83%	0%
市町村	5	0	5	0	0
		0%	100%	0%	0%
合計	85	49	31	5	0
		58%	36%	6%	0%

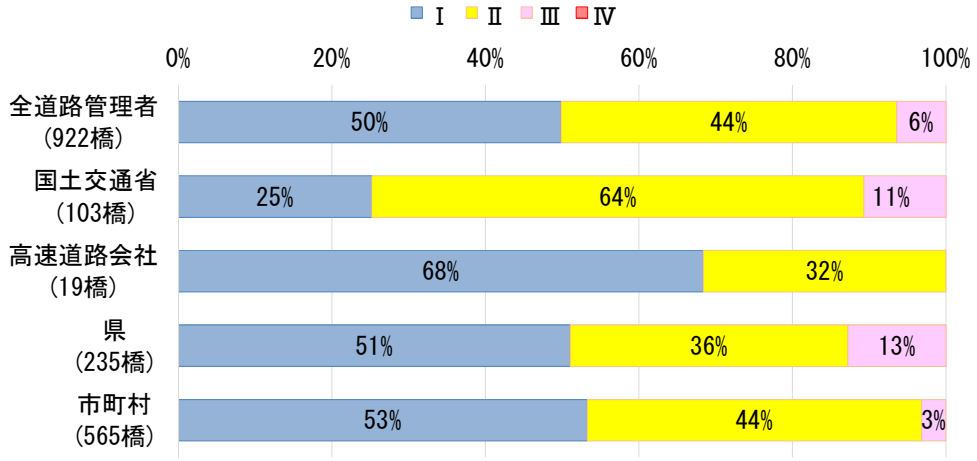
2020. 3 末時点

（３）2019 年度点検実施施設における判定区分の遷移状況

①橋梁

1 巡目の 2014 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5 年後の 2019 年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で 6%です。

橋梁では、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合と建設年数の間に明らかな関係性は見られません。



※（）内は、1 巡目（2014 年度）の結果が判定区分Ⅰまたは Ⅱとなった橋梁数の内、修繕等の措置を講じないまま 2019 年度に点検を実施した橋梁数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

図３－５　管理者別の判定区分の遷移状況

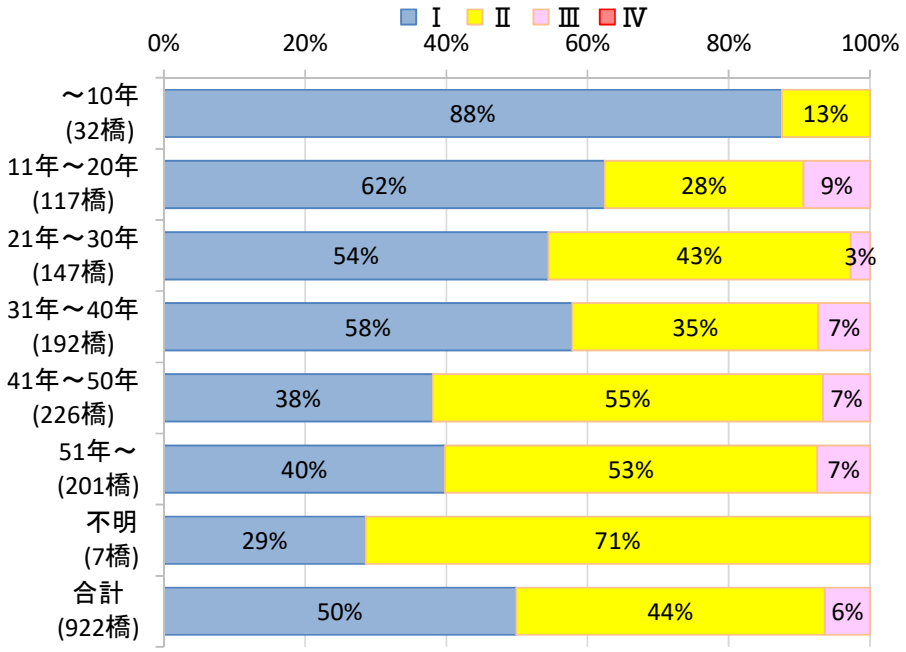


図３－６　建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

②トンネル

1巡目の2014年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で7%です。

建設年数が51年以上となるトンネルでは、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

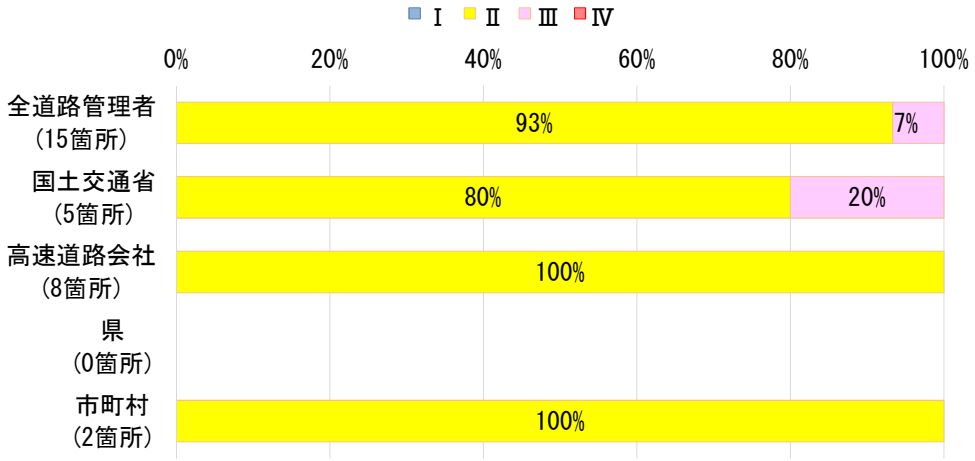


図３－７　管理者別の判定区分の遷移状況

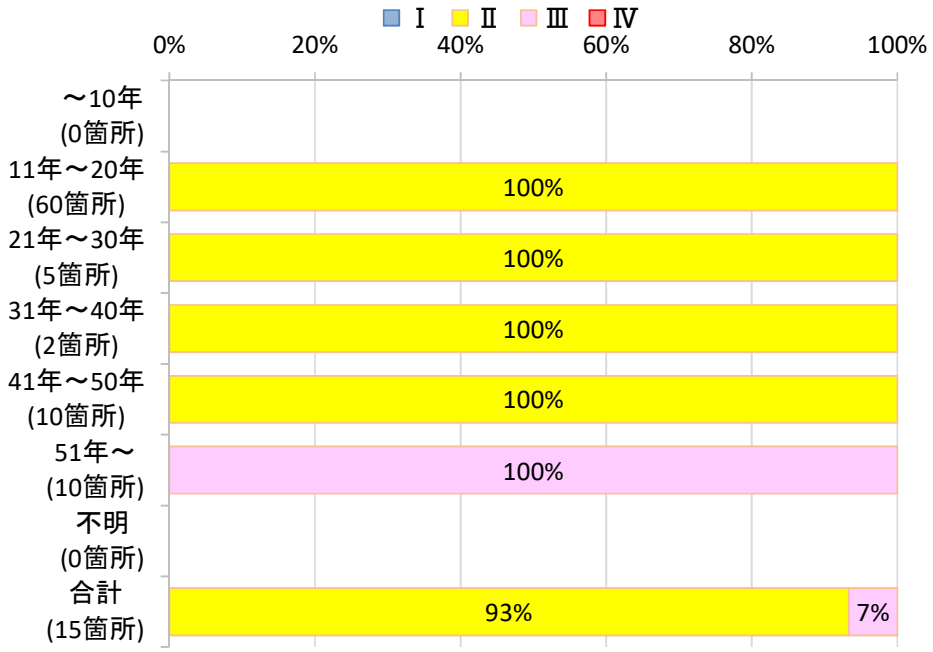


図３－８　建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

③道路附属物等

1巡目の2014年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した施設はありません。

道路附属物等では、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合と建設年数の間に明らかな関係性は見られません。

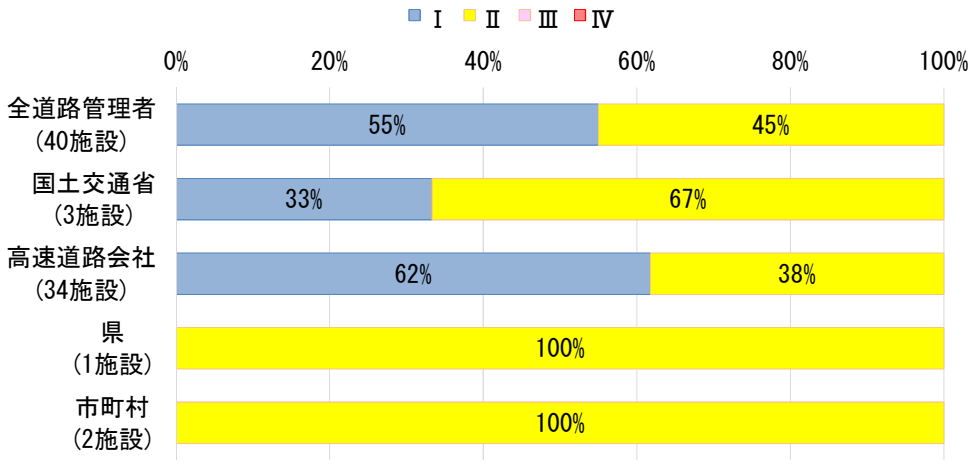


図３－９　管理者別の判定区分の遷移状況

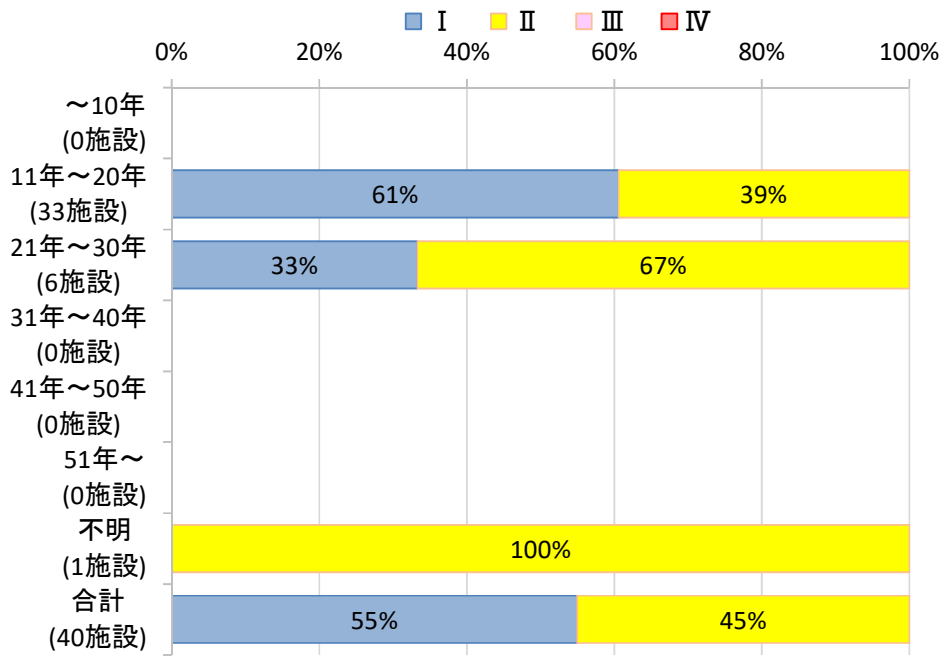


図３－１０　建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

４　１巡目点検施設の修繕等措置の実施状況（2019 年度末時点）

（１） 判定区分Ⅲ・Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況

各施設の修繕等措置については、定期点検の判定区分に応じて対策等を行います。

〇判定区分Ⅳ

「構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態」と診断された施設は、損傷発見後、緊急に措置を講ずることとしています。

〇判定区分Ⅲ

「構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態」と診断された施設は、次回点検まで（5 年以内）に措置を講ずることとしています。

１）判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況（2019 年度末時点）

１巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳと診断された施設の措置着手率（2019 年度末時点）は、橋梁 59%、トンネル 72%、道路附属物等 84%となっています。

表４－１　判定区分Ⅲ, Ⅳの修繕等措置の実施状況（全道路管理者）

	措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B （B/A）	措置に着工済の施設数 C （C/A）	措置完了済の施設数 D （D/A）
橋梁	856	508 （59%）	333 （39%）	278 （32%）
トンネル	58	42 （72%）	37 （64%）	31 （53%）
道路附属物等	64	54 （84%）	19 （30%）	13 （20%）

2020. 3 末時点

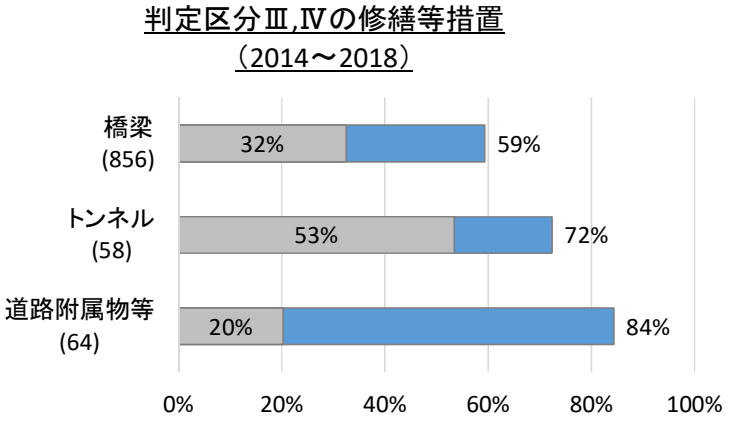


図４－３　判定区分Ⅲ, Ⅳの修繕等措置（2014 年度～2018 年度）

措置着手率 :措置（設計を含む）に着手した割合（B/A）
措置完了率 :措置が完了した割合（D/A）

2020. 3 末時点

①橋梁

○判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置※1の実施状況

1巡目点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断された橋梁で、2019年度末までに修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省100%、高速道路会社75%、地方公共団体54%です。

表４－２　橋梁の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着工済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	点検実施年度	:措置着手率(B/A) :措置完了率(D/A) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
国土交通省	99	99 (100%)	63 (64%)	51 (52%)	2014	96% 100%
					2015	92% 100%
					2016	63% 100%
					2017	5% 100%
					2018	5% 100%
高速道路会社	8	6 (75%)	0 (0%)	0 (0%)	2014	0%
					2015	0%
					2016	0% 67%
					2017	0% 100%
					2018	0% 75%
地方公共団体計	749	403 (54%)	270 (36%)	227 (30%)	2014	47% 59%
					2015	32% 57%
					2016	37% 56%
					2017	21% 60%
					2018	7% 23%
県	180	147 (82%)	91 (51%)	61 (34%)	2014	71% 100%
					2015	67% 100%
					2016	46% 97%
					2017	23% 85%
					2018	6% 38%
市町村	569	256 (45%)	179 (31%)	166 (29%)	2014	45% 56%
					2015	24% 48%
					2016	35% 48%
					2017	20% 40%
					2018	8% 13%
合計	856	508 (59%)	333 (39%)	278 (32%)		32% 59%

2020.3末時点

措置着手率 :措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)
措置完了率 :措置が完了した割合(D/A)

※1：監視を除く
※2：1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数

②トンネル

○判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置※1の実施状況

1巡目点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断されたトンネルで、2019年度末までに修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省100%、高速道路会社22%、地方公共団体69%です。

表４－３　トンネルの判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着工済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	点検実施年度	:措置着手率(B/A) :措置完了率(D/A) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
国土交通省	20	20 (100%)	17 (85%)	13 (65%)	2014	100% 100%
					2015	100% 100%
					2016	50% 100%
					2017	100% 100%
					2018	0% 100%
高速道路会社	9	2 (22%)	1 (11%)	1 (11%)	2014	0%
					2015	0%
					2016	100% 100%
					2017	0% 33%
					2018	0%
地方公共団体計	29	20 (69%)	19 (66%)	17 (59%)	2014	0%
					2015	0%
					2016	86% 86%
					2017	60% 67%
					2018	29% 57%
県	22	18 (82%)	18 (82%)	16 (73%)	2014	0%
					2015	0%
					2016	100% 100%
					2017	64% 71%
					2018	50% 100%
市町村	7	2 (29%)	1 (14%)	1 (14%)	2014	0%
					2015	0%
					2016	0%
					2017	0%
					2018	20% 40%
合計	58	42 (72%)	37 (64%)	31 (53%)		53% 72%

措置着手率：措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

措置完了率：措置が完了した割合(D/A)

2020.3末時点

※1：監視を除く

※2：1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数

③道路附属物等

○判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置※1の実施状況

1巡目点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断された道路附属物等で、2019年度末までに修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省92%、地方公共団体74%です。

表４－４　道路附属物等の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着工済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	点検実施年度	:措置着手率(B/A) :措置完了率(D/A) 0% 20% 40% 60% 80% 100%
国土交通省	37	34 (92%)	11 (30%)	8 (22%)	2014	0%
					2015	100% 100%
					2016	50% 100%
					2017	14% 95%
					2018	0% 75%
高速道路会社	0	0 (–)	0 (–)	0 (–)	2014	–
					2015	–
					2016	–
					2017	–
					2018	–
地方公共団体計	27	20 (74%)	8 (30%)	5 (19%)	2014	0%
					2015	100% 100%
					2016	50% 100%
					2017	8% 75%
					2018	17% 67%
県	22	18 (82%)	6 (27%)	3 (14%)	2014	0%
					2015	0%
					2016	50% 100%
					2017	9% 82%
					2018	11% 78%
市町村	5	2 (40%)	2 (40%)	2 (40%)	2014	0%
					2015	100% 100%
					2016	0%
					2017	0%
					2018	33% 33%
合計	64	54 (84%)	19 (30%)	13 (20%)		20% 84%

2020.3末時点

措置着手率 :措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

措置完了率 :措置が完了した割合(D/A)

※1：監視を除く

※2：1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数

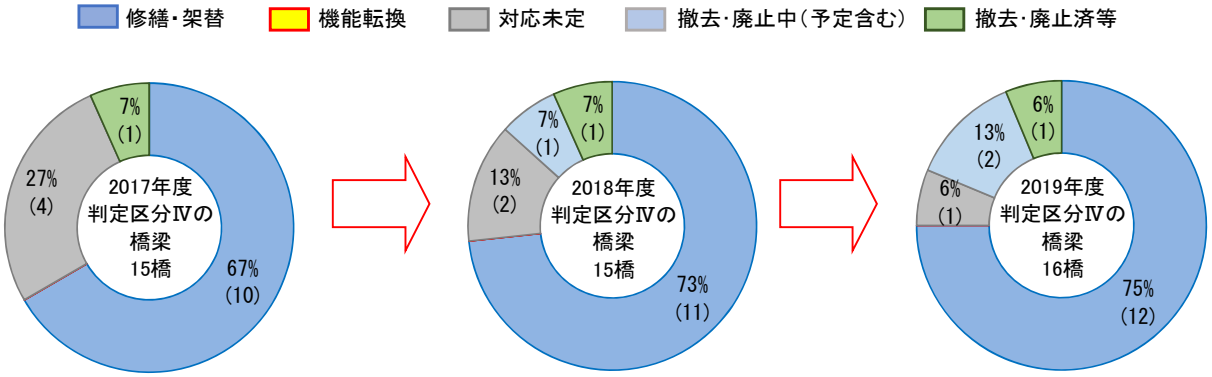
（２） 判定区分Ⅳの施設の措置状況

2019 年度末時点で判定区分Ⅳと診断された施設は、橋梁 16 橋、トンネル 1 箇所あり、措置済みの施設数は、橋梁 12 橋、トンネル 1 箇所となっています。道路附属物等は、2019 年度末時点で判定区分Ⅳと診断された施設はありませんでした。

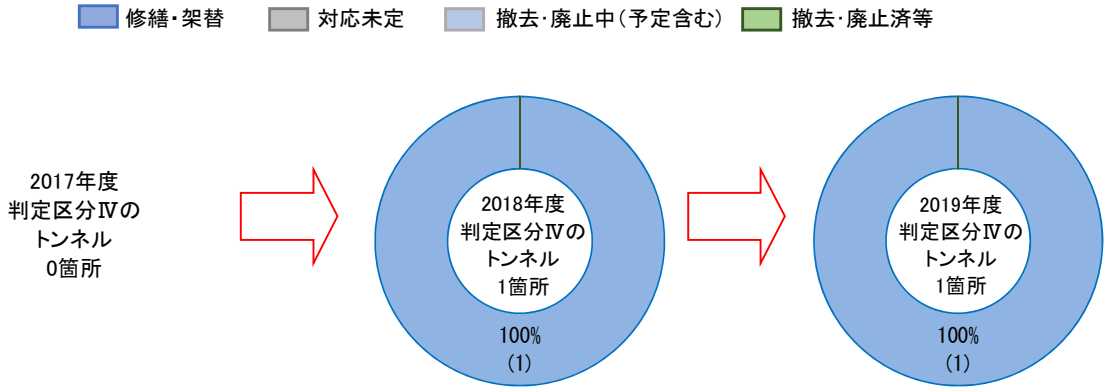
老朽化した道路インフラの適正な維持管理を行っていくうえでも、ライフサイクルコストや地域の状況を踏まえて、必要に応じて施設の集約化・撤去などにより合理化を図っていく必要があります。

※Ⅳ判定の施設リストは巻末資料（4）を参照

○判定区分Ⅳの橋梁の措置状況（予定含む）



○判定区分Ⅳのトンネルの措置状況（予定含む）



（３） 修繕等措置の取り組み事例

①判定区分Ⅱの修繕事例（橋梁）

施 設 名 ：護身仏橋（ごしんぶつばし）
管 理 者 ：国土交通省
　　酒田河川国道事務所
路 線 名 ：国道１１２号
位　　置 ：山形県鶴岡市
建 設 年 ：1977 年（昭和 52 年）
主な損傷 ：主桁の腐食、床版のひびわれ、うき



写真４－１　【全景】護身仏橋



写真４－２　【損傷】床版補修前



写真４－３　【対策】部分打替え・主桁塗装

②判定区分Ⅲの修繕事例（橋梁）

施 設 名 ：新間瀬橋（しんまぜばし）
管 理 者 ：国土交通省
　　山形河川国道事務所
路 線 名 ：国道１１３号
位　　置 ：山形県西置賜郡小国町
建 設 年 ：1971 年（昭和 46 年）
主な損傷 ：床版のうき、剥離・鉄筋露出、桁腐食等



写真４－４　【全景】新間瀬橋



写真４－５　【損傷】横桁の腐食



写真４－６　【対策】鋼桁補強工

施 設 名 ：御成跨線橋（おなりこせんきょう）
管 理 者 ：山形県
路 線 名 ：県道酒田港線
位　　置 ：山形県酒田市
建 設 年 ：1974 年（昭和 49 年）
主な損傷 ：鋼材の腐食



写真４－７　【全景】御成跨線橋



写真４－８　【損傷】鋼材の腐食



写真4－9【対策】塗替塗装

③判定区分Ⅱの修繕事例（トンネル）

施 設 名 ：湯殿山（ゆどのさん）トンネル
管 理 者 ：国土交通省
　　酒田河川国道事務所
路 線 名 ：国道１１２号
位　　置 ：山形県鶴岡市
建 設 年 ：1978 年（昭和 53 年）
主な損傷 ：覆工のうき、漏水



写真４－１０　【全景】湯殿山トンネル



写真４－１１　【損傷】補修前（旧面導水撤去時）



写真４－１２　【対策】補修後

④判定区分Ⅲの修繕事例（トンネル）

施 設 名 ：青沢第一隧道（あおさわだいいちずいどう）
管 理 者 ：山形県
路 線 名 ：国道３４４号
位　　置 ：山形県酒田市
建 設 年 ：1962 年（昭和 37 年）
主な損傷 ：うき、はく落、欠損、漏水



写真４－１３　【全景】青沢第一隧道



写真４－１４　【損傷】
うき、はく落、欠損、漏水



写真４－１５　【対策】
覆工補強工、断面修復、水抜き孔

⑤判定区分Ⅲの修繕事例（スノーシェッド）

施 設 名 ：湯温海（ゆあつみ）スノーシェッド
管 理 者 ：山形県
路 線 名 ：県道余目温海線
位　　置 ：山形県鶴岡市
建 設 年 ：1970 年（昭和 45 年）
主な損傷 ：ひびわれ、うき、剥離、
鉄筋露出、漏水



写真４－１６　【全景】
湯温海スノーシェッド



写真４－１７　【損傷】防水の劣化



写真４－１８　【対策】頂版防水

⑥判定区分Ⅳの修繕事例（橋梁）

施 設 名 ：上山橋（かみやまばし）
管 理 者 ：大蔵村
路 線 名 ：村道沼ノ台上山線
位　　置 ：山形県最上郡大蔵村
建 設 年 ：1977 年（昭和 52 年）
主な損傷 ：支承の機能障害、橋台の変状



写真４－１９　【全景】上山橋



写真４－２０　【損傷】支承の機能障害



写真４－２１　【対策】支承交換

（４）橋梁の損傷傾向

１）地勢

山形県は、全国でも有数の豪雪地域であり、県内全域が積雪寒冷地域として知られています。

そのため、冬期は厳しい気象条件となっており、全域にわたって凍結抑制剤が散布されている実態があります。

また、日本海側は冬期の厳しい季節風や地吹雪により、塩害の影響が激しい地域が存在しています。

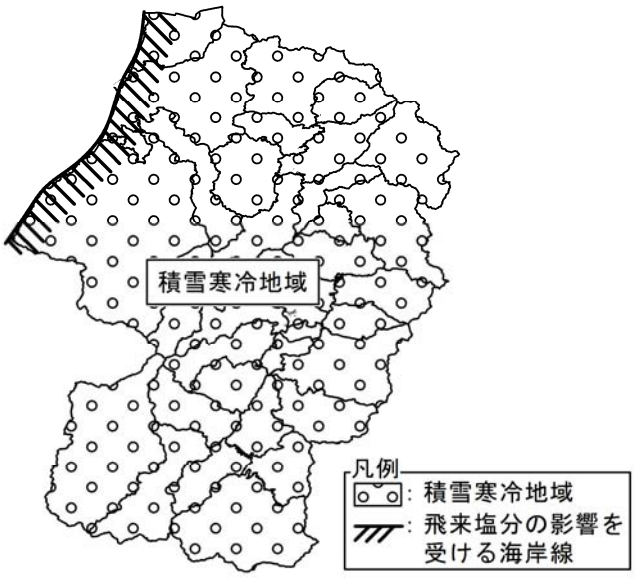


図４－２　山形県の地理的特徴

【凍結抑制剤による損傷事例】



写真４－２２　RC 床版のひびわれ
錆汁を伴う漏水・遊離石灰

【塩害による損傷事例】



写真４－２３　主桁の全般的な腐食

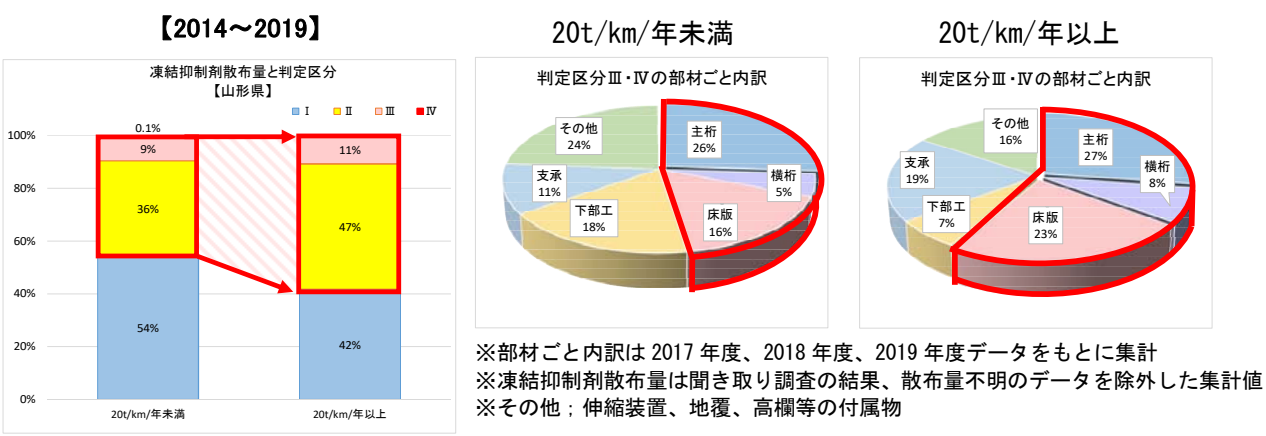
２）長寿命化に向けて

橋梁の損傷の多くは支承や橋桁端部に集中しており、伸縮装置からの凍結抑制剤の塩分を含んだ漏水が原因と考えられます。また、床版においても、路面水の浸透が劣化を早める原因と考えられます。このため、伸縮装置や橋面の止水・防水・排水対策等を適切に行い、長寿命化を図ることが重要となっています。

３） 凍結抑制剤の影響

凍結抑制剤の散布量の影響について分析した結果、散布量が少ない橋梁に比べ、散布量が多い橋梁では健全度が低い傾向です。

部材別では、主桁や床版などの上部工部材に影響が見受けられます。



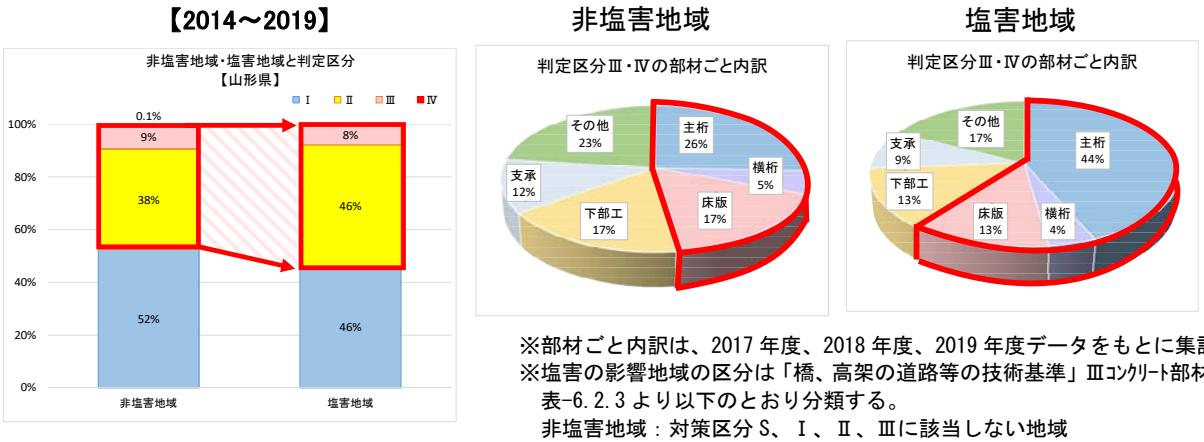
※部材ごと内訳は 2017 年度、2018 年度、2019 年度データをもとに集計
※凍結抑制剤散布量は聞き取り調査の結果、散布量不明のデータを除外した集計値
※その他；伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

図４－３　凍結抑制剤散布量別の橋梁判定区分及び判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳

４） 塩害の影響

飛来塩分の影響について分析した結果、内陸部に位置する橋梁に比べ、海岸線に近い橋梁の健全度が低い傾向です。

部材別では、主桁などの上部工部材や床版に影響が見受けられます。



※部材ごと内訳は、2017 年度、2018 年度、2019 年度データをもとに集計
※塩害の影響地域の区分は「橋、高架の道路等の技術基準」Ⅲｺﾝｸﾘｰﾄ部材編 表-6.2.3 より以下のとおり分類する。
非塩害地域：対策区分 S、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに該当しない地域
塩害地域　：対策区分 S、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに該当する地域
※その他；伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

図４－４　非塩害地域･塩害地域別の橋梁判定区分及び判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳

（５） 個別施設計画の策定状況

各道路管理者は、橋梁・トンネル・道路附属物等の定期点検の結果に基づき長寿命化修繕計画（個別施設計画）※を策定しています。

長寿命化修繕計画（個別施設計画）に基づき、メンテナンスサイクルを予防保全型へ転換することにより施設の長寿命化を図るものです。

また、長寿命化修繕計画（個別施設計画）は、計画的に対策を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減や維持管理費の平準化を目指します。

さらに、計画的な定期点検を行い、新たに措置が必要な施設についても確実に対策を実施していくため、長寿命化修繕計画（個別施設計画）はその都度更新します。

2019 年度末時点における県内の市町村の長寿命化修繕計画（個別施設計画）の策定状況は、橋梁 100%、トンネル 73%、道路附属物等 33%となっています。市町村については、2020 年度までに策定することで進められています。

※維持管理・更新等にかかるトータルコストの縮減・平準化を図る上で点検・診断等の結果を踏まえた個別施設毎の具体の対応方針を定めた計画

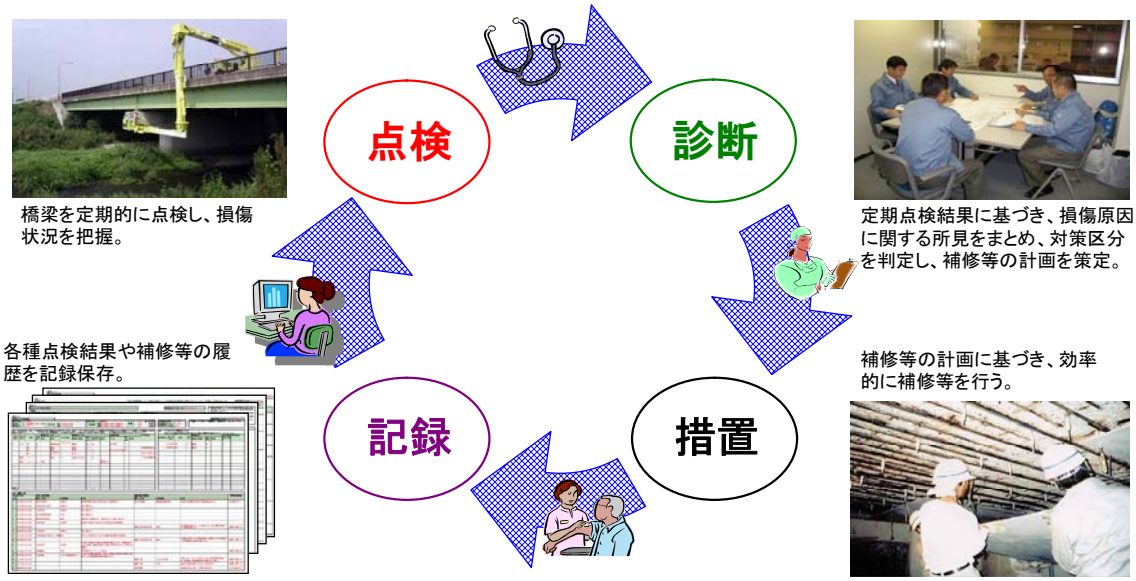
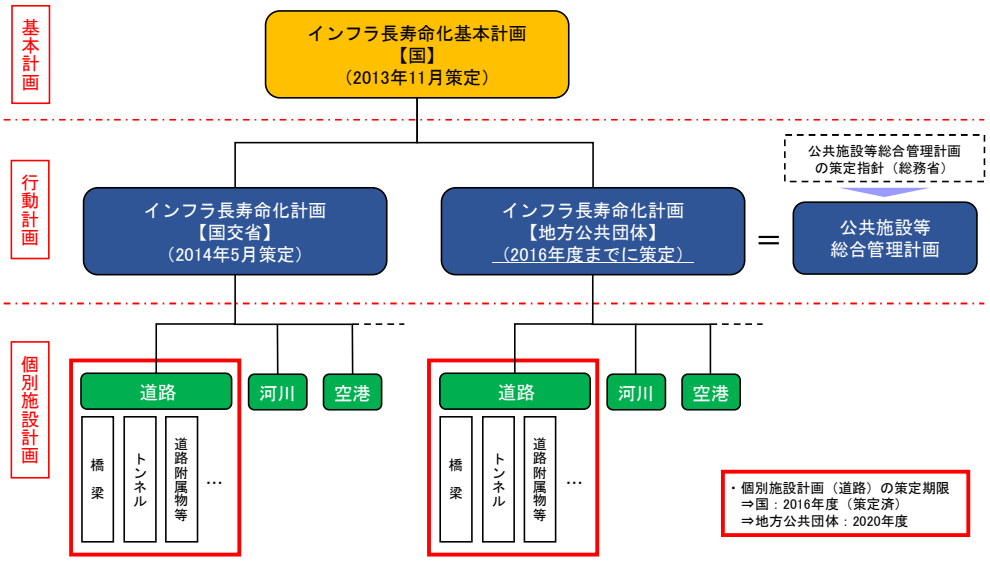


図４－５　橋梁保全のマネジメント図

○ インフラ長寿命化計画の体系



○ 個別施設計画の策定状況（2019 年度末時点）

表４－５　個別施設計画の策定状況

〈橋梁〉

管理者	策定率	管理団体数	計画策定団体数
国土交通省	100%	1	1
高速道路会社	100%	1	1
県	100%	1	1
市町村	100%	35	35

〈トンネル〉

管理者	策定率	管理団体数	計画策定団体数
国土交通省	100%	1	1
高速道路会社	100%	1	1
県	100%	1	1
市町村	73%	11	8

〈道路附属物等〉

管理者	策定率	管理団体数	計画策定団体数
国土交通省	100%	1	1
高速道路会社	100%	1	1
県	100%	1	1
市町村	33%	9	3

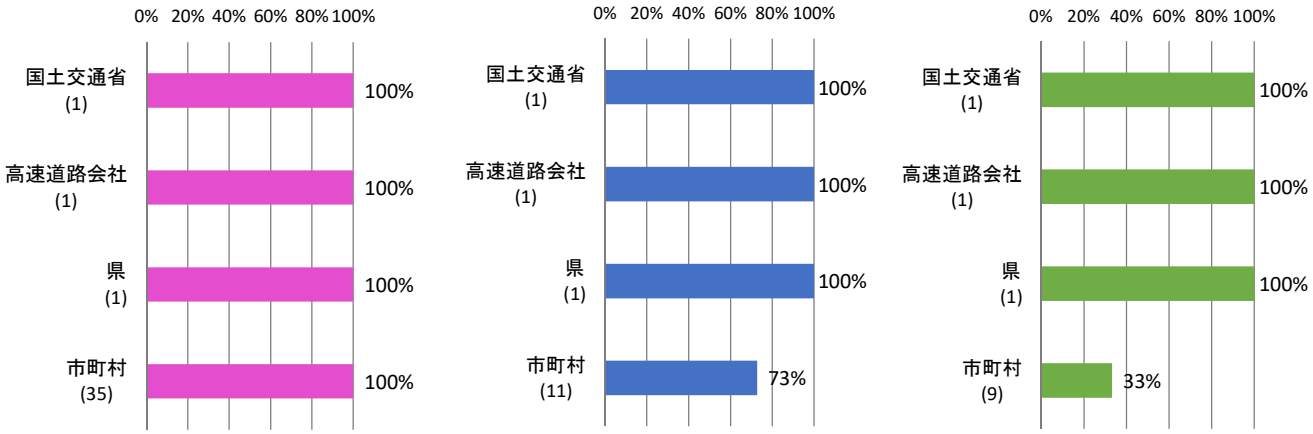


図４－６　個別施設計画の策定率

※（）は団体数
※割合は個別施設計画策定対象の施設を管理する団体数により算出
※道路附属物等は横断歩道橋、門型標識等、シェッド、大型カルバートであり、いずれかの施設の個別施設計画が策定されていれば策定済みとしている

５　道路メンテナンス会議の取り組み

山形県道路メンテナンス会議は、インフラの老朽化対策が社会的な課題となり、橋梁･トンネル等の定期的な点検がスタートした 2014 年度に、技術力の向上、インフラの長寿命化の推進、さらには道路インフラの維持管理についての情報共有や課題解決への連携と道路の管理を効果的に行っていくことが急務であるとして、県内の道路管理者が一体的連携を図るための組織として設置されました。

特に市町村では、道路構造物の維持管理についての技術ノウハウや土木技術系職員が不足しているなど課題がある中で、道路インフラを適正に維持管理していくことが重要であるため、山形県道路メンテナンス会議では、市町村の技術的支援に重点をおいた活動を展開しています。



写真５－１　講習会状況



写真５－２　現場研修状況



写真５－３　広報活動状況
（損傷供試体による打音確認）

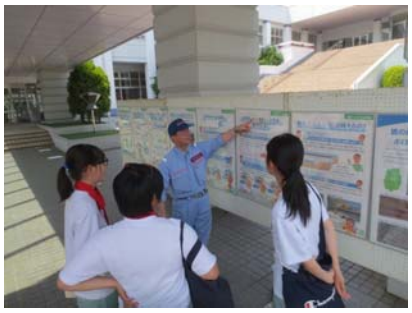


写真５－４　パネル展状況
（道路施設老朽化パネル説明）

○これまでの取り組み

表５－１　取り組み経緯

年度	月	会議開催	研修・講習会	広報活動
2014（H26）	4～6	5/30 第1回道路メンテナンス会議（設立）		6月 パネル展示（鶴岡市市役所）
	7～9		8/6 橋梁長寿命化総合研修（点検編）新庄会場 8/7 橋梁長寿命化総合研修（点検編）天童会場	7月～8月 パネル展示（各道の駅・各自治体）
	10～12	10/10 第2回道路メンテナンス会議	11/6 橋梁長寿命化研修（概説編・設計編） 12/17 トンネル長寿命化対策研修	10/7 橋梁点検体験実習（高校生） 10/25 橋の老朽化対策現場特別見学会（一般者）
	1～3	1/14 第3回道路メンテナンス会議 3/11 こ道橋連絡会議（設立）		
2015（H27）	4～6	5/29 第1回メンテナンス会議	6/25 橋梁長寿命化総合研修（点検編）酒田会場	
	7～9	8/26 第2回道路メンテナンス会議	7/2 橋梁長寿命化総合研修（点検編）長井会場 7/17 現地研修（Co橋補修事例） 9/9 トンネル長寿命化対策研修	
	10～12		11/10～11 橋梁技術研修（鋼橋・PC橋）	12月 パネル展示（各道の駅・県庁）
	1～3	1/13 第3回道路メンテナンス会議		1月～2月 パネル展示（各道の駅・県庁）
2016（H28）	4～6	6/29 第1回道路メンテナンス会議		4月～6月 パネル展示・点検体験（各道の駅・各自治体） 6/8 天童市イベント パネル展示・点検体験（高校生） 6/11 河北町イベント 橋梁打音検査体験（小学生） 6/17 橋梁点検体験学習（高校生）
	7～9	8/3 こ道橋連絡会議	9/27 橋梁長寿命化総合研修（点検編）山形会場 9/28 橋梁長寿命化総合研修（点検編）寒河江会場	8月 パネル展示（県庁）
	10～12		10/26 現地研修（PC橋補修事例） 11/11 現地研修（鋼橋補修事例） 11/29 長寿命化対策研修（道路附属物・溝橋編）	10月 パネル展示（各自治体） 10/19 補修工事現場見学（一般者） 11/22 トンネル内装版更新工事見学会（報道関係者） 12/1 老朽化対策取材（TV放映）
	1～3	3/6 第2回道路メンテナンス会議 3/6 道路鉄道連絡会議（設立）		2/14 メンテナンスサイクル新聞広告掲載
2017（H29）	4～6			4月～6月 パネル展示・点検体験（各道の駅・各自治体） 5/18 職業体験学習 座学・点検体験（高校生） 6/7 天童市イベント パネル展示・点検体験（高校生） 6/24 河北町イベント 橋梁打音検査体験（小学生）
	7～9	8/2 第1回道路メンテナンス会議 8/2 こ道橋連絡会議	7/28 現地研修（横断歩道橋補修事例） 9/6 道路メンテナンス研修（点検編）酒田会場 9/7 道路メンテナンス研修（点検編）高畠会場 9/27 既設橋の耐震補強現場視察・座学	7/7 職業体験学習 座学・点検体験（高校生） 8月 パネル展示（県庁）
	10～12	12/20 第2回道路メンテナンス会議	10/5 現地研修（橋梁床版補修事例） 10/31 道路メンテナンス研修（舗装点検・小規模附属物編）	10月 パネル展示・点検体験（各道の駅・各自治体）
	1～3	2/19 第3回道路メンテナンス会議 2/19 道路鉄道連絡会議		
2018（H30）	4～6	5/31 事務局会議		4月～6月 パネル展示・点検体験（各道の駅・各自治体） 6/6 天童市イベント パネル展示・点検体験（高校生） 6/23 河北町イベント 橋梁打音検査体験（小学生）
	7～9	9/4 第1回道路メンテナンス会議	9/10 道路メンテナンス研修（点検編）天童会場 9/12 道路メンテナンス研修（点検編）新庄会場 9/19 現地研修（橋梁補修例（塗装）） 9/26 既設橋の耐震補強現場視察・座学	7/6 職業体験学習 座学・点検体験（高校生） 8月 パネル展示（県庁）
	10～12		10/3 現地研修（橋梁床版橋梁補修例） 10/18 山形県橋梁技術研修・・・県主催 11/7 道路メンテナンス研修 （舗装点検・土工構造物点検編）	10月 パネル展示・点検体験（各道の駅・各自治体）
	1～3	2/25 山形鉄道連絡会議		
2019（R1）	4～6	4/23 定期点検要領等改定説明会 6/12 事務局会議	5/14 現地研修（RC床版取替）	パネル展示・体験乗車（一般者） 4/28 寒河江市イベント 5/5 道の駅いいで 5/6 山形市イベント パネル展示・打音検査・体験乗車（高校生） 6/5 天童市イベント 橋梁点検・打音検査・体験乗車（小学生） 6/22 河北町イベント
	7～9	8/7 第1回道路メンテナンス会議	7/1 現地研修 橋梁補修（塗装塗替） 9/10道路メンテナンス研修（橋梁点検編） 村山会場 9/11道路メンテナンス研修（橋梁点検編） 庄内会場	8/1～8/15 老朽化対策パネル展示（県庁）
	10～12		11/12・13 橋梁技術研修（主催者：山形県） 11/21 溝橋講習会及び支援技術活用講習会	10/7 県版道路メンテナンス概要公表
	1～3	2/17 第2回道路メンテナンス会議 2/17 道路鉄道連絡会議		

６　資料編（東北と県全体の比較）

（１）建設年度別施設数・建設後 50 年経過した割合 26
（２）道路管理者別施設数内訳 27
（３）2019 年度（単年度）道路管理者別点検結果内訳 28
（４）2019 年度点検実施施設における道路管理者別判定区分の遷移状況 29
（５）2019 年度点検実施施設における建設年数別の遷移状況 30
（６）部材ごとの点検結果内訳（橋梁） 31
（７）判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（橋梁） 33

（１） 建設年度別施設数・建設後 50 年経過した割合

■橋梁

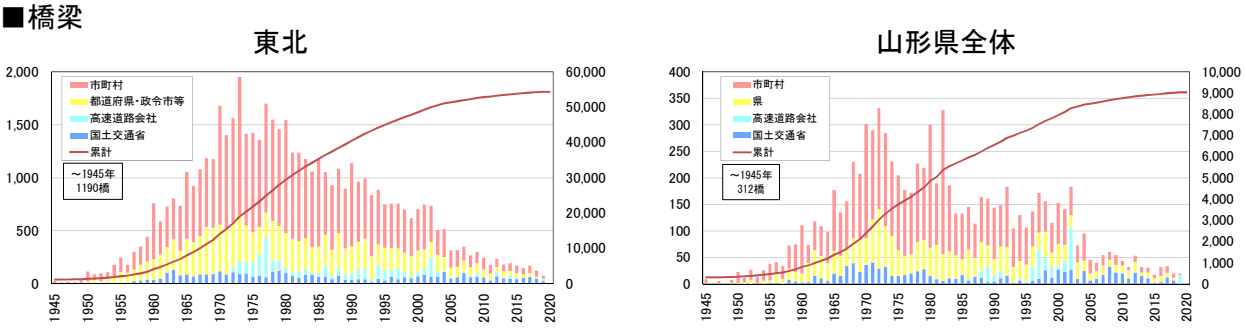


図６－１　建設年度別施設数

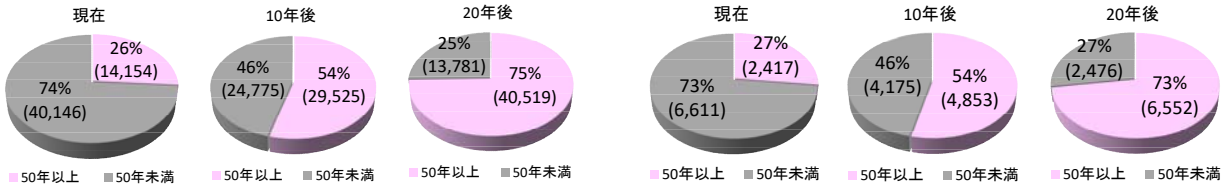


図６－２　建設後 50 年経過した割合

■トンネル

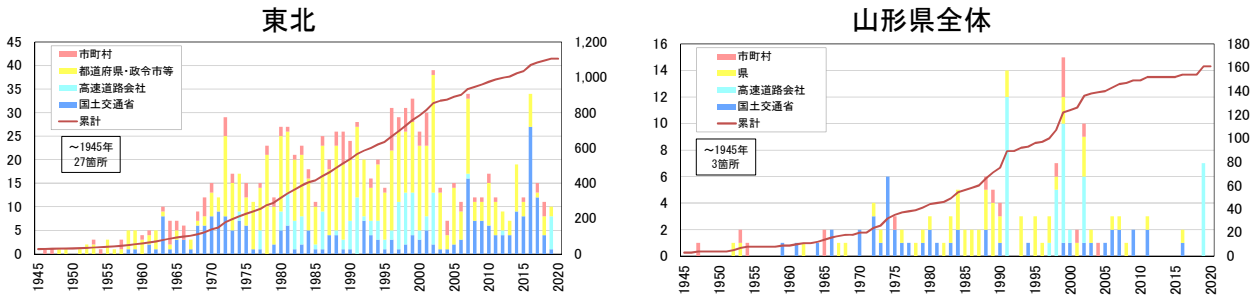


図６－３　建設年度別施設数

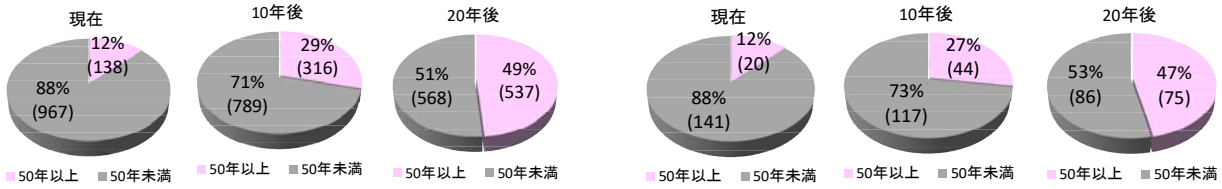


図６－４　建設後 50 年経過した割合

■道路附属物等

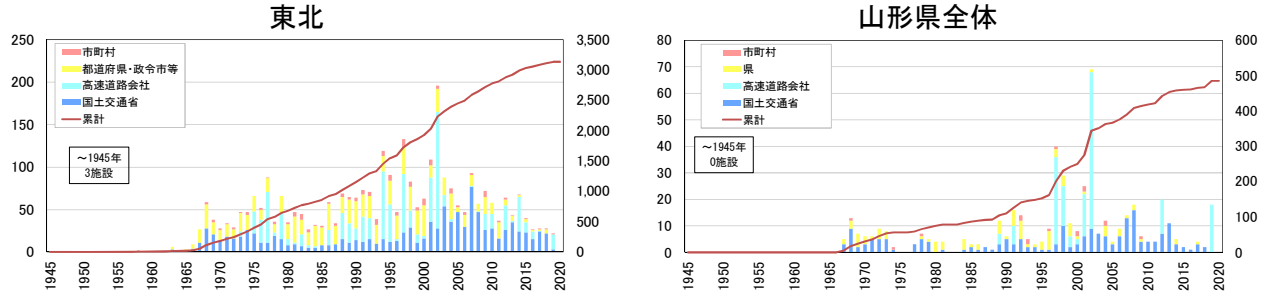


図６－５建設年度別施設数

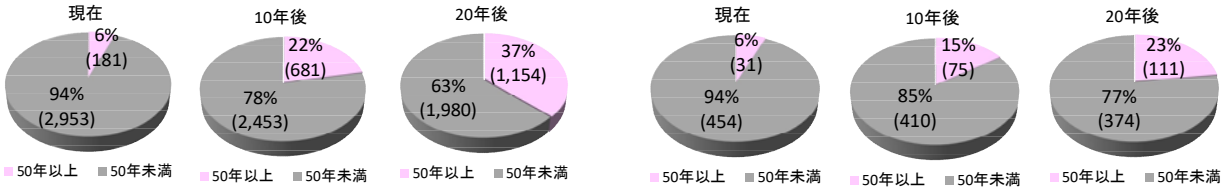


図６－６　建設後 50 年経過した割合

（２） 道路管理者別施設数内訳

■橋梁

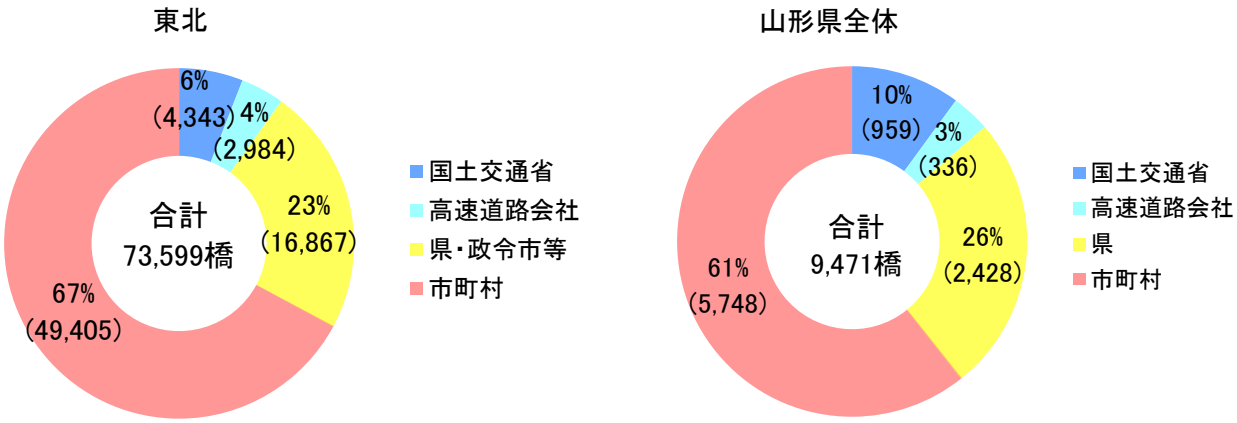


図６－７　道路管理者別施設数内訳

■トンネル

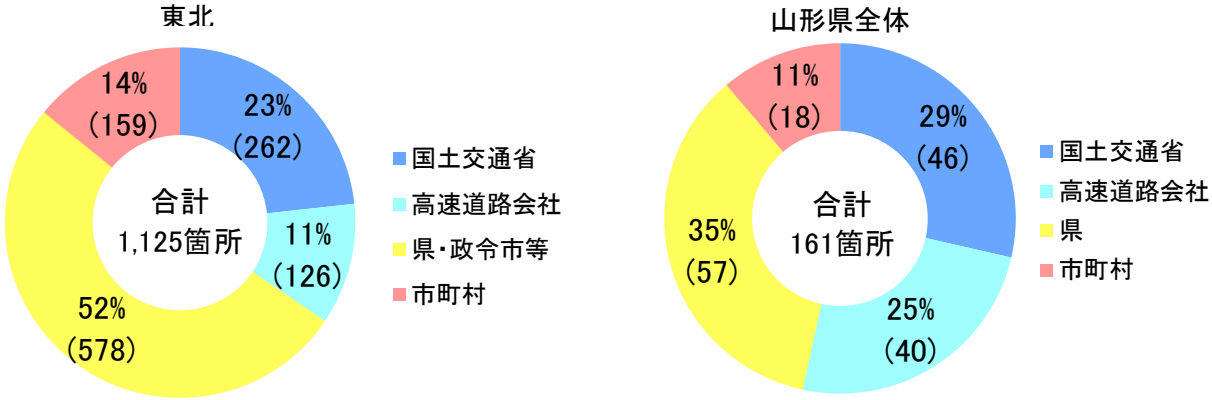


図６－８　道路管理者別施設数内訳

■道路附属物等

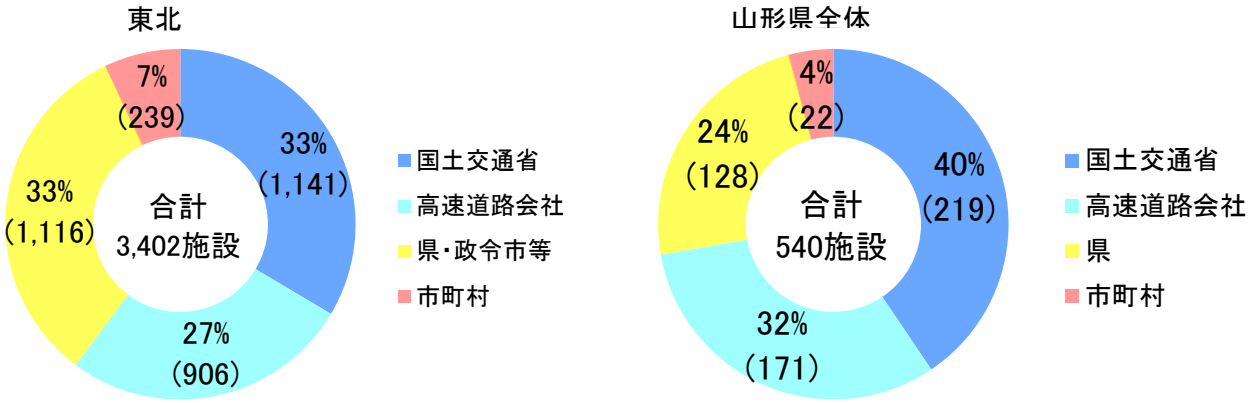


図６－９　道路管理者別施設数内訳

（３） 2019 年度（単年度）道路管理者別点検結果内訳

■橋梁

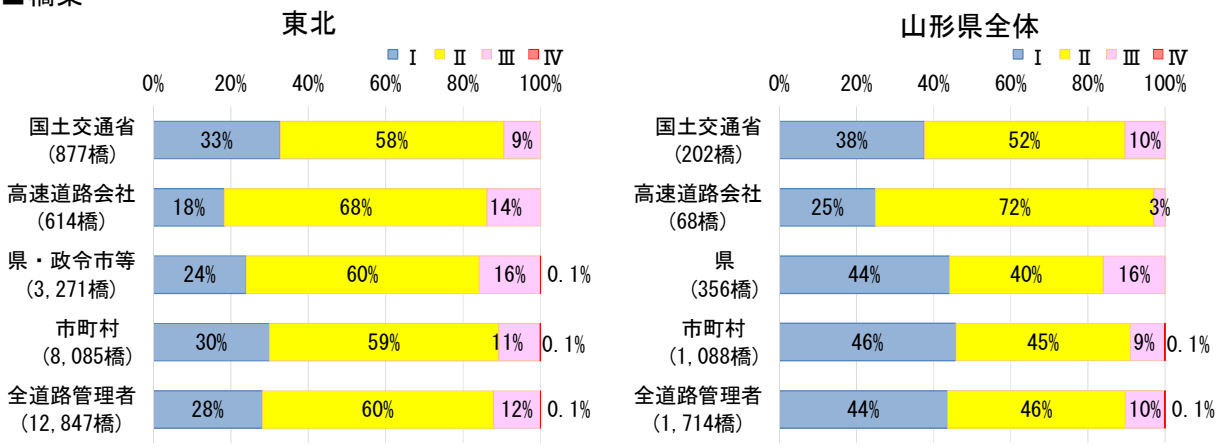


図６－１０　2019 年度(単年度)道路管理者別点検結果内訳

■トンネル

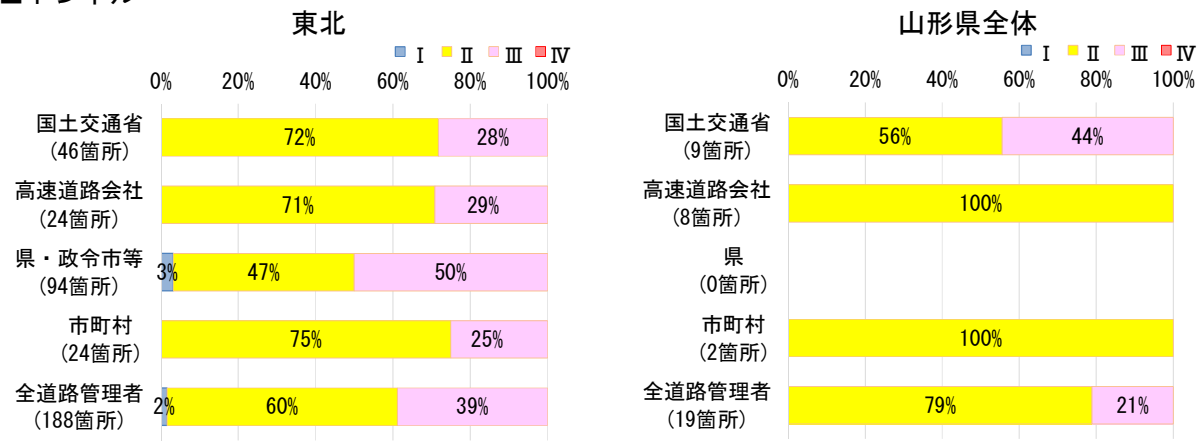


図６－１１　2019 年度(単年度)道路管理者別点検結果内訳

■道路附属物等

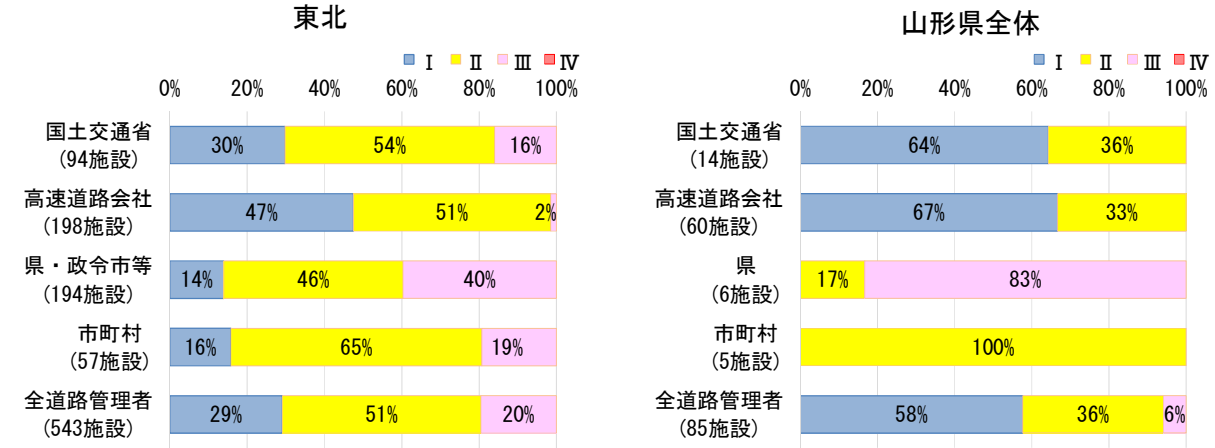


図６－１２　2019 年度(単年度)道路管理者別点検結果内訳

（４） 2019 年度点検実施施設における道路管理者別判定区分の遷移状況

■橋梁

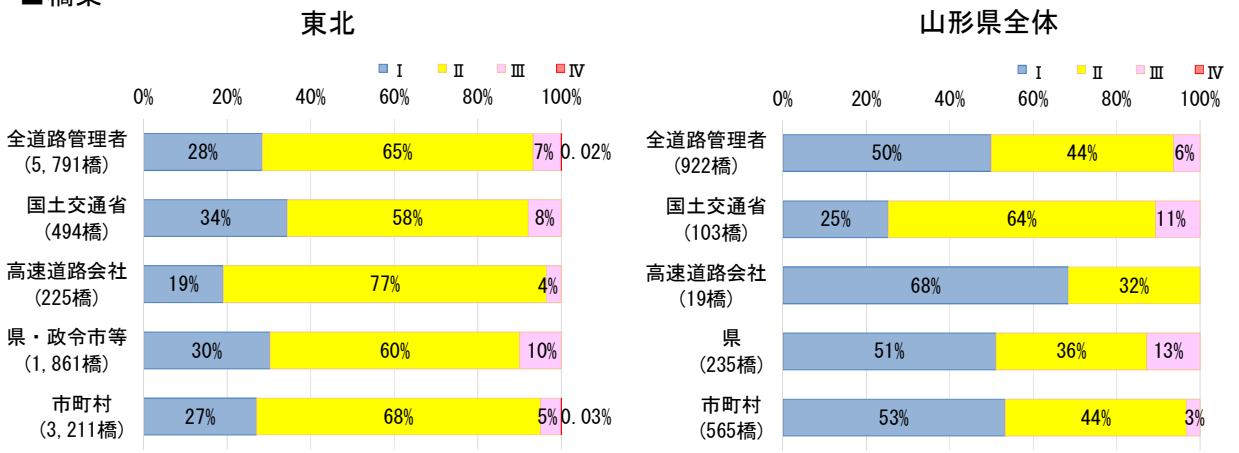


図６－１３　道路管理者別判定区分の遷移状況

■トンネル

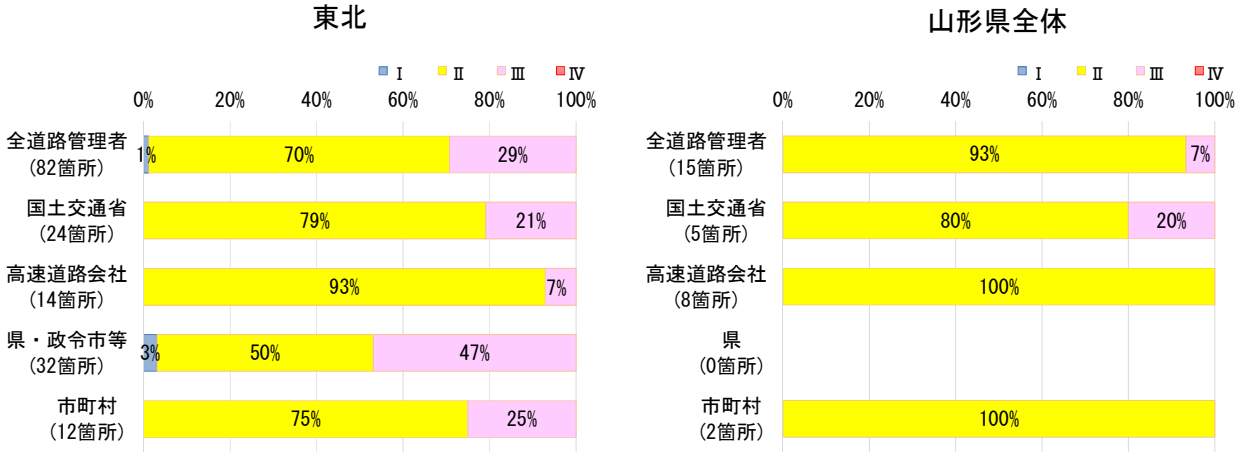


図６－１４　道路管理者別判定区分の遷移状況

■道路附属物等

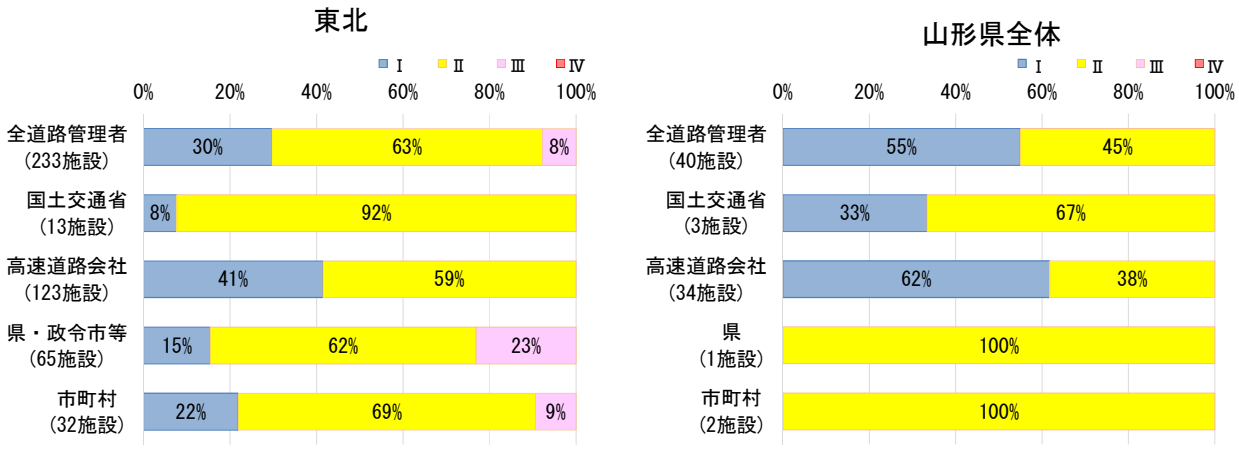


図６－１５　道路管理者別判定区分の遷移状況

（５） 2019 年度点検実施施設における建設年数別の遷移状況

■橋梁

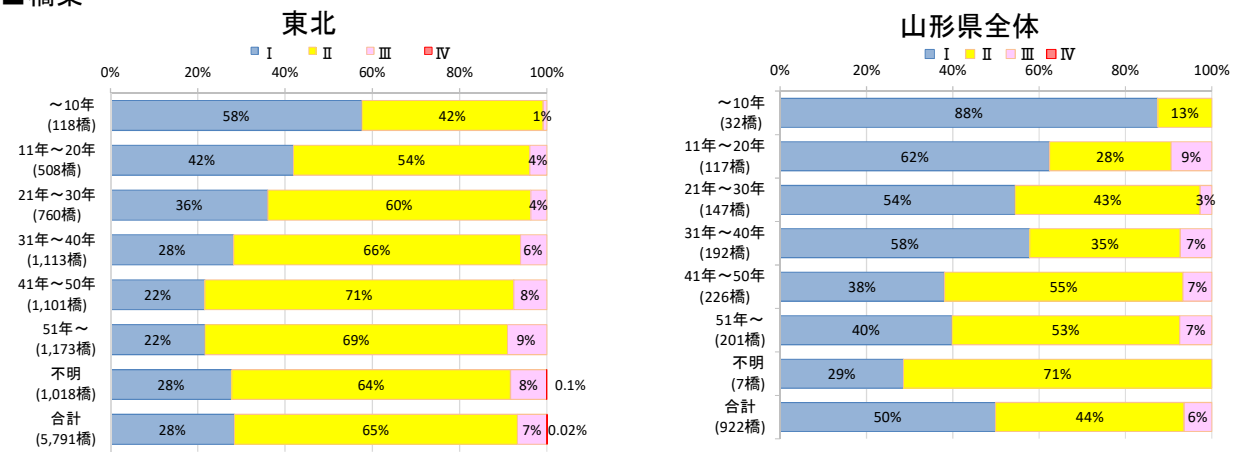


図６－１６　建設年数別の判定区分の遷移状況

■トンネル

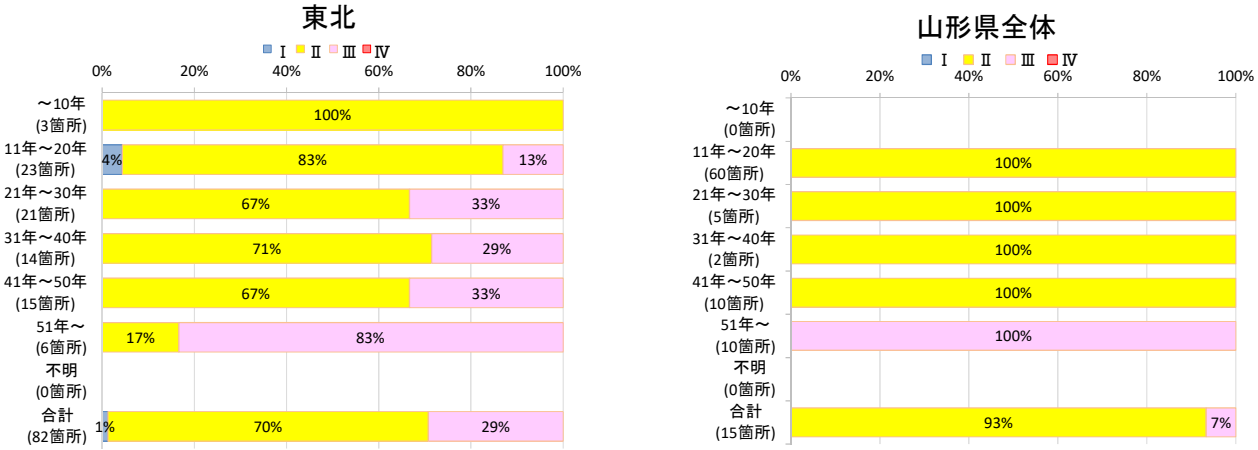


図６－１７　建設年数別の判定区分の遷移状況

■道路附属物等

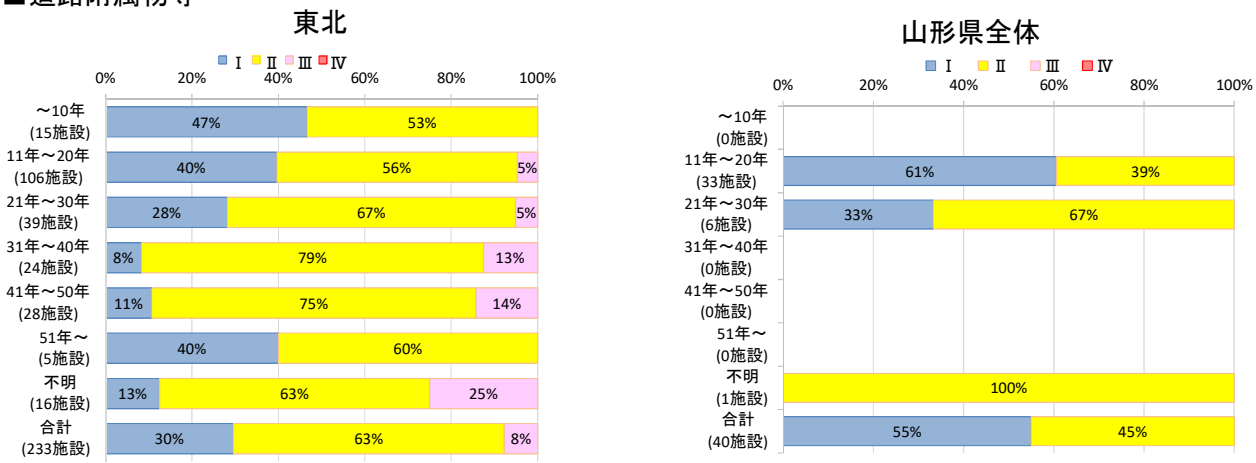
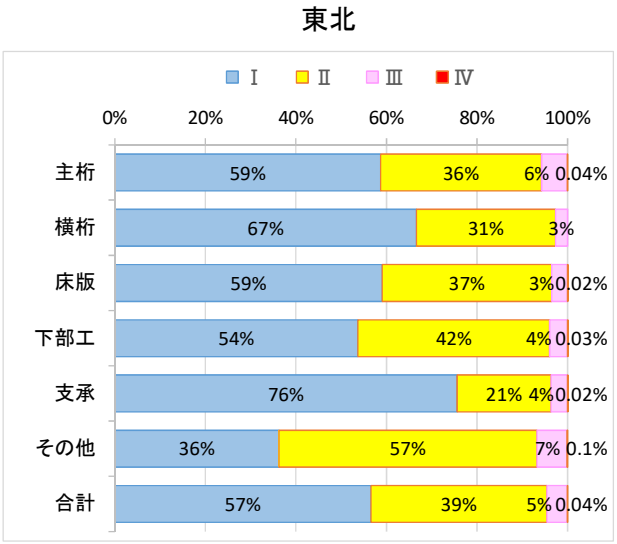


図６－１８　建設年数別の判定区分の遷移状況

（６） 部材ごとの点検結果内訳（橋梁）

１）凍結抑制剤による部材への影響



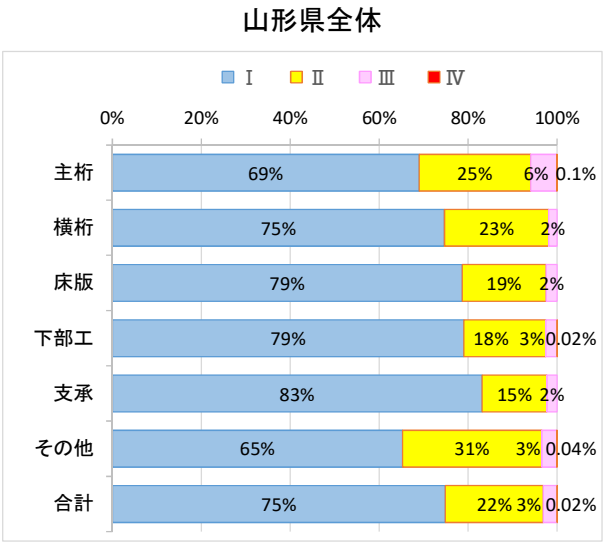
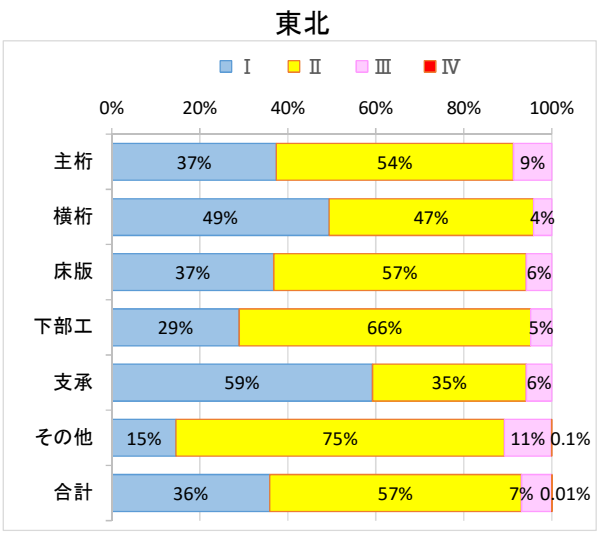


図６－１９　部材ごとの判定区分【散布量 20t/㎞/年未満】



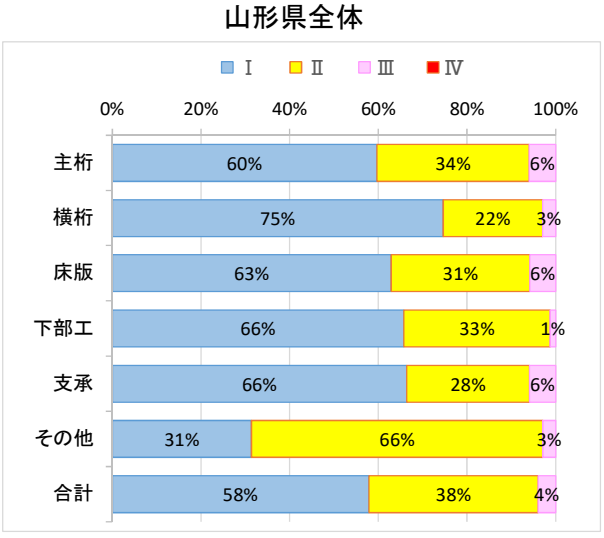


図６－２０　部材ごとの判定区分【散布量 20t/㎞/年以上】

※2017 年度、2018 年度、2019 年度データをもとに集計
※凍結抑制剤散布量は聞き取り調査の結果、散布量不明のデータを除外した集計値
※その他；伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

２）塩害による部材への影響

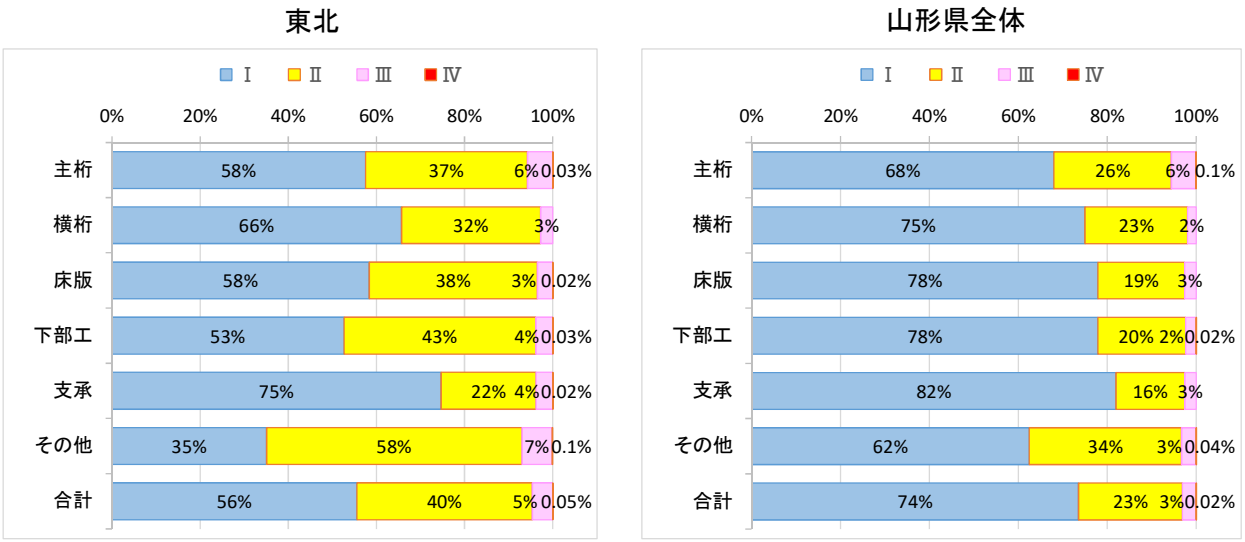


図６－２１　部材ごとの判定区分【非塩害地域】

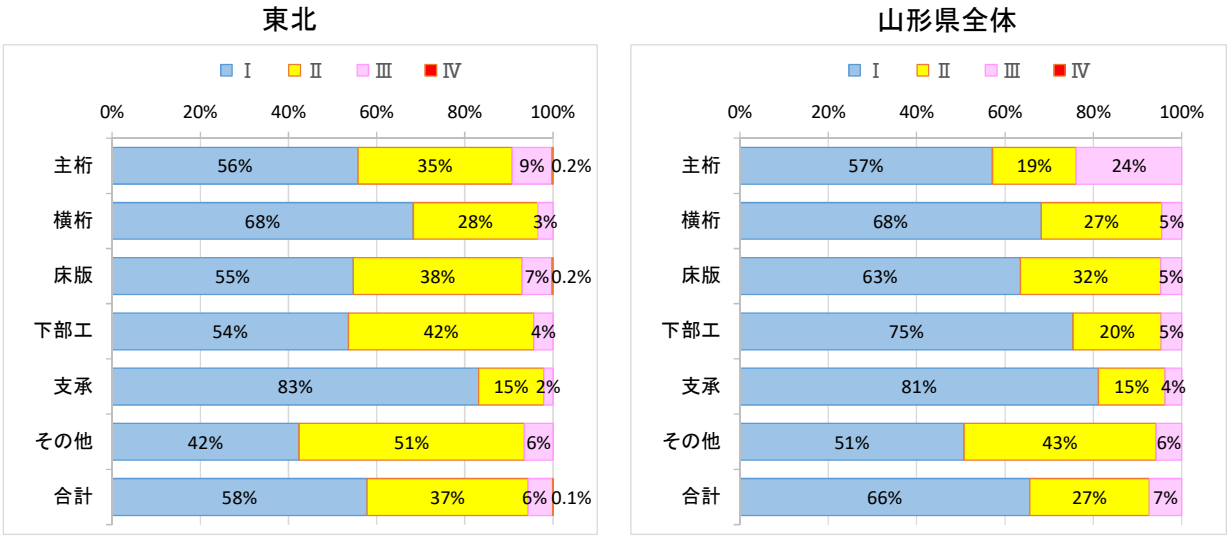


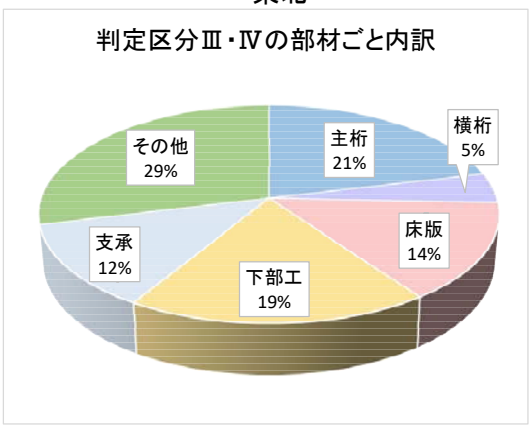
図６－２２　部材ごとの判定区分【塩害地域】

※部材ごと内訳は、2017 年度、2018 年度、2019 年度データをもとに集計
※塩害の影響地域の区分は「橋、高架の道路等の技術基準」Ⅲｺﾝｸﾘｰﾄ部材編 表-6. 2. 3 より以下のとおり分類する。
非塩害地域：対策区分 S、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに該当しない地域
塩害地域　：対策区分 S、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに該当する地域
※その他；伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

（７） 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（橋梁）

■橋梁

東北



山形県全体

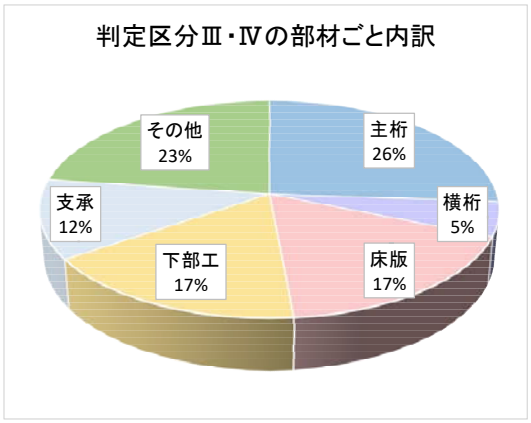
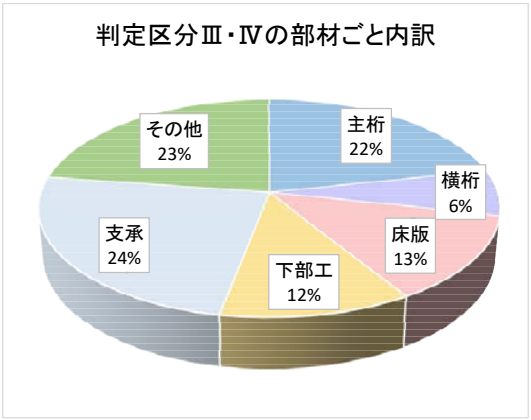


図６－２３　判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（全橋種）【橋梁】

東北



山形県全体

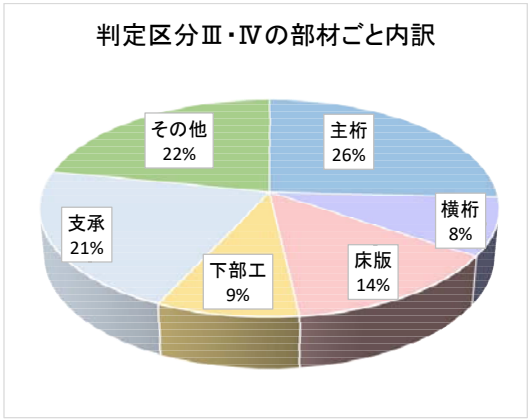
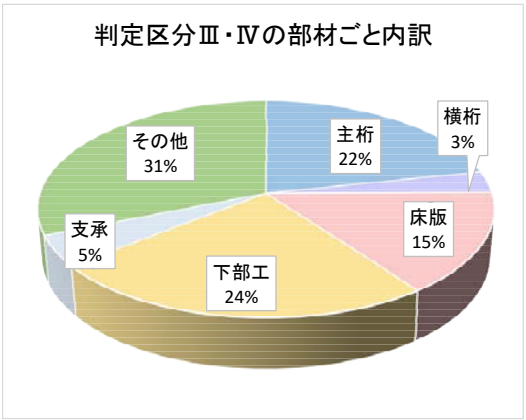


図６－２４　判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（鋼橋）【橋梁】

東北



山形県全体

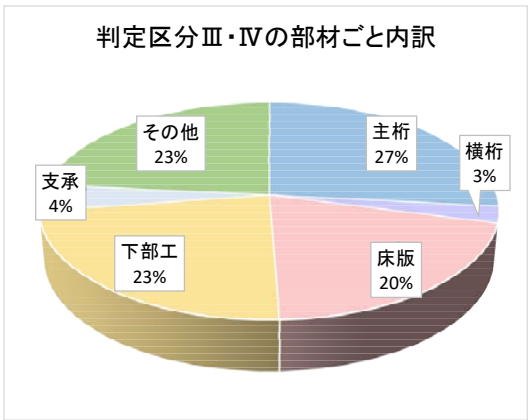


図６－２５判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（コンクリート橋）【橋梁】

※2017 年度、2018 年度、2019 年度データをもとに集計
※その他；伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

7 巻末資料

（１）道路管理者別の管理施設数 35
（２）2019 年度(単年度)道路管理者別の点検結果 36
（３）道路管理者別の１巡目点検施設の修繕等措置の実施状況 39
（４）判定区分Ⅳの施設リスト（2014 年度～2019 年度） 42
（５）橋梁・トンネルの建設年度別施設数 45

（１） 道路管理者別の管理施設数

管理者	管理者名	管理施設数						
		橋梁	トンネル	道路附属物等				
					シェッド	大型カルバート	横断歩道橋	門型標識等
国土交通省	山形河川国道事務所	696	24	139	19	52	30	38
	酒田河川国道事務所	238	18	62	9	7	8	38
	湯沢河川国道事務所	0	1	0	0	0	0	0
	福島河川国道事務所	25	3	18	0	14	0	4
	国　小計	959	46	219	28	73	38	80
高速道路会社	NEXCO 東日本	336	40	171	14	123	0	34
県	山形県	2,428	56	128	26	24	26	52
	福島県	0	1	0	0	0	0	0
	県　小計	2,428	57	128	26	24	26	52
市町村	山形市	358	2	5	0	2	0	3
	米沢市	304	0	1	0	0	1	0
	鶴岡市	835	5	3	3	0	0	0
	酒田市	492	1	0	0	0	0	0
	新庄市	120	0	0	0	0	0	0
	寒河江市	142	0	0	0	0	0	0
	上山市	175	0	0	0	0	0	0
	村山市	130	0	0	0	0	0	0
	長井市	249	2	1	0	0	1	0
	天童市	137	0	4	0	4	0	0
	東根市	105	0	2	1	1	0	0
	尾花沢市	134	1	0	0	0	0	0
	南陽市	189	0	0	0	0	0	0
	山辺町	66	0	0	0	0	0	0
	中山町	54	0	0	0	0	0	0
	河北町	58	0	0	0	0	0	0
	西川町	91	0	2	2	0	0	0
	朝日町	57	0	0	0	0	0	0
	大江町	97	0	0	0	0	0	0
	大石田町	31	0	0	0	0	0	0
	金山町	81	1	0	0	0	0	0
	最上町	66	0	0	0	0	0	0
	舟形町	51	0	1	0	1	0	0
	真室川町	109	0	0	0	0	0	0
	大蔵村	40	1	0	0	0	0	0
	鮭川村	46	0	0	0	0	0	0
	戸沢村	58	0	0	0	0	0	0
	高畠町	307	1	3	0	3	0	0
	川西町	287	0	0	0	0	0	0
	小国町	163	3	0	0	0	0	0
	白鷹町	155	0	0	0	0	0	0
	飯豊町	168	0	0	0	0	0	0
	三川町	73	0	0	0	0	0	0
	庄内町	203	0	0	0	0	0	0
	遊佐町	117	1	0	0	0	0	0
	市町村　小計	5,748	18	22	6	11	2	3
	合計	9,471	161	540	74	231	66	169

2020.3 末時点

（２） 2019 年度(単年度)道路管理者別の点検結果

■橋梁

表７－１　2019 年度(単年度)道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	合計
山形河川国道事務所	52	84	17	0	153
酒田河川国道事務所	24	21	4	0	49
高速道路会社	17	49	2	0	68
山形県	157	142	57	0	356
山形市	1	15	3	0	19
米沢市	16	30	6	0	52
鶴岡市	94	57	12	0	163
酒田市	172	123	10	0	305
新庄市	0	0	0	0	0
寒河江市	18	16	0	0	34
上山市	0	0	0	0	0
村山市	53	16	1	0	70
長井市	0	0	0	0	0
天童市	21	18	6	0	45
東根市	1	7	2	0	10
尾花沢市	0	0	0	0	0
南陽市	9	22	5	0	36
山辺町	0	0	0	0	0
中山町	10	17	0	0	27
河北町	0	0	0	0	0
西川町	8	20	3	1	32
朝日町	10	22	6	0	38
大江町	4	6	0	0	10
大石田町	0	4	1	0	5
金山町	8	7	0	0	15
最上町	0	0	0	0	0
舟形町	22	19	9	0	50
真室川町	0	0	0	0	0
大蔵村	0	0	0	0	0
鮭川村	0	0	0	0	0
戸沢村	0	53	4	0	57
高畠町	0	0	0	0	0
川西町	0	9	24	0	33
小国町	0	0	0	0	0
白鷹町	20	13	0	0	33
飯豊町	5	9	2	0	16
三川町	0	0	0	0	0
庄内町	26	10	2	0	38
遊佐町	0	0	0	0	0
合計	748	789	176	1	1,714

2020.3 末時点

■トンネル

表７－２　2019 年度(単年度)道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	合計
山形河川国道事務所	0	2	2	0	4
酒田河川国道事務所	0	3	2	0	5
湯沢河川国道事務所	0	0	0	0	0
福島河川国道事務所	0	0	0	0	0
高速道路会社	0	8	0	0	8
山形県	0	0	0	0	0
福島県	0	0	0	0	0
山形市	0	2	0	0	2
米沢市	0	0	0	0	0
鶴岡市	0	0	0	0	0
酒田市	0	0	0	0	0
新庄市	0	0	0	0	0
寒河江市	0	0	0	0	0
上山市	0	0	0	0	0
村山市	0	0	0	0	0
長井市	0	0	0	0	0
天童市	0	0	0	0	0
東根市	0	0	0	0	0
尾花沢市	0	0	0	0	0
南陽市	0	0	0	0	0
山辺町	0	0	0	0	0
中山町	0	0	0	0	0
河北町	0	0	0	0	0
西川町	0	0	0	0	0
朝日町	0	0	0	0	0
大江町	0	0	0	0	0
大石田町	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0
最上町	0	0	0	0	0
舟形町	0	0	0	0	0
真室川町	0	0	0	0	0
大蔵村	0	0	0	0	0
鮭川村	0	0	0	0	0
戸沢村	0	0	0	0	0
高畠町	0	0	0	0	0
川西町	0	0	0	0	0
小国町	0	0	0	0	0
白鷹町	0	0	0	0	0
飯豊町	0	0	0	0	0
三川町	0	0	0	0	0
庄内町	0	0	0	0	0
遊佐町	0	0	0	0	0
合計	0	15	4	0	19

2020.3 末時点

■道路附属物等

表７－３　2019 年度(単年度)道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	合計
山形河川国道事務所	4	2	0	0	6
酒田河川国道事務所	5	3	0	0	8
福島河川国道事務所	0	0	0	0	0
高速道路会社	40	20	0	0	60
山形県	0	1	5	0	6
山形市	0	3	0	0	3
米沢市	0	0	0	0	0
鶴岡市	0	0	0	0	0
酒田市	0	0	0	0	0
新庄市	0	0	0	0	0
寒河江市	0	0	0	0	0
上山市	0	0	0	0	0
村山市	0	0	0	0	0
長井市	0	0	0	0	0
天童市	0	0	0	0	0
東根市	0	0	0	0	0
尾花沢市	0	0	0	0	0
南陽市	0	0	0	0	0
山辺町	0	0	0	0	0
中山町	0	0	0	0	0
河北町	0	0	0	0	0
西川町	0	2	0	0	2
朝日町	0	0	0	0	0
大江町	0	0	0	0	0
大石田町	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0
最上町	0	0	0	0	0
舟形町	0	0	0	0	0
真室川町	0	0	0	0	0
大蔵村	0	0	0	0	0
鮭川村	0	0	0	0	0
戸沢村	0	0	0	0	0
高畠町	0	0	0	0	0
川西町	0	0	0	0	0
小国町	0	0	0	0	0
白鷹町	0	0	0	0	0
飯豊町	0	0	0	0	0
三川町	0	0	0	0	0
庄内町	0	0	0	0	0
遊佐町	0	0	0	0	0
合計	49	31	5	0	85

2020.3 末時点

（３） 道路管理者別の１巡目点検施設の修繕等措置の実施状況

■橋梁

表７－４　１巡目点検施設、道路管理者別の判定区分Ⅲ、Ⅳ修繕等措置の実施数

A：措置が必要な施設数　　B：措置に着手済の施設数
C：措置に着工済の施設数　D：措置完了済の施設数

管理者名	2014				2015				2016				2017				2018				合計			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
山形河川国道事務所	23	23	23	23	9	9	9	9	12	12	9	6	19	19	5	1	18	18	4	0	81	81	50	39
酒田河川国道事務所	4	4	4	3	3	3	2	2	7	7	6	6	0	0	0	0	4	4	1	1	18	18	13	12
高速道路会社	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	1	1	0	0	4	3	0	0	8	6	0	0
山形県	7	7	7	5	33	33	27	22	35	34	26	16	71	60	27	16	34	13	4	2	180	147	91	61
山形市	0	0	0	0	34	19	11	7	29	27	20	19	16	14	8	7	0	0	0	0	79	60	39	33
米沢市	8	8	4	4	3	3	2	2	2	2	1	1	6	4	0	0	2	1	1	1	21	18	8	8
鶴岡市	5	4	4	4	22	13	5	5	17	4	1	1	16	0	0	0	10	0	0	0	70	21	10	10
酒田市	22	20	17	17	12	12	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	32	22	22
新庄市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0
寒河江市	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	4	2	2	2	2	2	2	2	8	6	6	6
上山市	0	0	0	0	2	2	2	2	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	5	5
村山市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	5	2	0	0
長井市	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4	2	1	1	5	0	0	0	12	2	1	1
天童市	3	3	3	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	6	6
東根市	1	0	0	0	0	0	0	0	9	5	5	5	5	1	1	1	1	0	0	0	16	6	6	6
尾花沢市	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	3	0	0	0	4	1	1	1	9	3	3	3
南陽市	5	0	0	0	4	0	0	0	13	3	2	2	1	0	0	0	7	0	0	0	30	3	2	2
山辺町	0	0	0	0	3	3	3	3	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4
中山町	4	4	4	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	5	5
河北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	2	2	1	1
西川町	4	4	3	3	2	2	1	1	0	0	0	0	2	2	2	2	0	0	0	0	8	8	6	6
朝日町	2	1	1	1	5	3	3	1	6	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	14	5	4	2
大江町	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	2	2	2	1	0	0	4	0	0	0	12	4	2	2
大石田町	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	0	3	0	0	0	7	2	2	2
最上町	0	0	0	0	4	2	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	1	1
舟形町	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	2	1
真室川町	0	0	0	0	0	0	0	0	10	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	10	8	8	8
大蔵村	0	0	0	0	4	4	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	3
鮭川村	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3	1	1
戸沢村	1	0	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	0	0
高畠町	0	0	0	0	0	0	0	0	13	10	7	7	7	2	2	2	0	0	0	0	20	12	9	9
川西町	0	0	0	0	0	0	0	0	23	5	5	4	8	1	0	0	0	0	0	0	31	6	5	4
小国町	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	1	1	1	1	5	0	0	0	12	1	1	1
白鷹町	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
飯豊町	26	0	0	0	16	2	2	1	16	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	58	3	3	2
三川町	0	0	0	0	34	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	2	2	2
庄内町	5	5	4	4	1	1	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	8	5	5
遊佐町	0	0	0	0	0	0	0	0	8	5	5	4	0	0	0	0	1	0	0	0	9	5	5	4
合計	122	84	75	72	202	120	84	71	247	146	111	94	177	114	50	34	108	44	13	7	856	508	333	278

※1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除いた施設数（2020.3 末時点）

■トンネル

表７－５　１巡目点検施設、道路管理者別の判定区分Ⅲ、Ⅳ修繕等措置の実施数

A：措置が必要な施設数　　B：措置に着手済の施設数
C：措置に着工済の施設数　D：措置完了済の施設数

管理者名	2014				2015				2016				2017				2018				合計			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
山形河川国道事務所	3	3	3	3	2	2	2	2	9	9	7	5	0	0	0	0	2	2	1	0	16	16	13	10
酒田河川国道事務所	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2
湯沢河川国道事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
福島河川国道事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
高速道路会社	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	3	1	0	0	5	0	0	0	9	2	1	1
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	6	6	13	10	10	9	2	2	2	1	21	18	18	16
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
山形市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
米沢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鶴岡市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0
酒田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新庄市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寒河江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
村山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長井市	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
天童市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東根市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尾花沢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南陽市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山辺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大石田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
最上町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
舟形町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
真室川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大蔵村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮭川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
戸沢村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高畠町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
川西町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小国町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0
白鷹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯豊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
庄内町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遊佐町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	4	4	4	4	3	3	3	3	18	17	15	12	19	12	11	10	14	6	4	2	58	42	37	31

※1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除いた施設数（2020.3 末時点）

■道路附属物等

表７－６　１巡目点検施設、道路管理者別の判定区分Ⅲ、Ⅳ修繕等措置の実施数

A：措置が必要な施設数　　B：措置に着手済の施設数
C：措置に着工済の施設数　D：措置完了済の施設数

管理者名	2014				2015				2016				2017				2018				合計			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
山形河川国道事務所	0	0	0	0	1	1	1	1	3	3	1	1	15	15	3	2	4	4	2	0	23	23	7	4
酒田河川国道事務所	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	6	5	1	1	2	0	0	0	11	8	4	4
福島河川国道事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	3	3	0	0
高速道路会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	11	9	4	1	9	7	1	1	22	18	6	3
山形市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
米沢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
鶴岡市	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
酒田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新庄市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寒河江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
村山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長井市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天童市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
東根市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
尾花沢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南陽市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山辺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大石田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最上町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
舟形町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
真室川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大蔵村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鮭川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
戸沢村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高畠町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
川西町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小国町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白鷹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯豊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
庄内町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遊佐町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	3	3	3	3	8	8	4	4	33	29	8	4	20	14	4	2	64	54	19	13

※1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除いた施設数（2020.3 末時点）

（４） 判定区分Ⅳの施設リスト（2014 年度～2019 年度）

■橋梁

○判定区分Ⅳの橋梁の措置状況（予定含む）

管理者	計	管理中				撤去・廃止等 ※2	計
		修繕・架替	撤去・廃止	機能転換 ※1	対応未定		
国土交通省	1	1	0	0	0	0	1
県	1	1	0	0	0	0	1
市町村	14	10	3	0	1	0	14
合計	16	12	3	0	1	0	16

※1：機能転換とは、既存の施設を、他の施設として利用すること。
※2：判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。
※高速道路会社管理の橋梁は健全度Ⅳの施設なし。

○国土交通省（1 橋）

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2020.3 月末時点)
東北地方整備局	堺田跨線橋（さかいだこせんきょう）	国道 47 号	1970	2014	下フランジ及び支点上補剛材の一部が欠損。支承にも著しい腐食	仮受け材の設置	修繕済

○県（1 橋）

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2020.3 月末時点)
山形県	仁田山橋（にだやまばし）	県道土内五日町橋	1961	2017	主桁端部に一部欠損を伴うせん断ひびわれが発生した	全面通行止迂回路設置	修繕済

○市町村（14 橋）

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2020.3 月末時点)
鶴岡市（山形県）	向田橋（むかいだはし）	市道木野俣線	1962	2014	主桁の剥離、鉄筋露出	通行規制（片側）	撤去済
酒田市（山形県）	宮内橋（みやうちばし）	市道官内 3 号線	1968	2014	主桁の腐食	全面通行止	修繕済
酒田市（山形県）	早塚橋（はやつかばし）	市道手蔵田久保田線	1969	2014	主桁の腐食	全面通行止	修繕済
尾花沢市（山形県）	河恭橋（かじかはし）	市道Ⅳ-705 号線	1935	2016	床版の鉄筋露出	全面通行止	修繕済

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2020.3月末時点)
尾花沢市（山形県）	4-706-1号橋	市道Ⅳ-706号線	1964	2016	下部工の洗堀	全面通行止	修繕済
西川町（山形県）	大入間川橋	月岡入間線	1965	2019	橋脚の洗堀による沈下・傾斜	全面通行止	架替中
朝日町（山形県）	のぞくら橋	町道朝日線	1965	2015	支承の機能障害	全面通行止	修繕済
大蔵村（山形県）	上山橋	村道沼ノ台上山線	1977	2015	橋台の変状	全面通行止	修繕済
川西町（山形県）	西横道橋	町道西横道線	1980	2016	下部工の移動、鉄筋露出	全面通行止	修繕済
川西町（山形県）	坂水橋	町道道祖神坂水橋線	1968	2016	橋脚の鉄筋露出 支承の機能障害	全面通行止	未定
川西町（山形県）	続橋	町道高橋七裏線	1978	2017	A1橋台が川側に傾斜。洗堀等があった場合、橋台転倒や落橋等の恐れあり	全面通行止	架替中
白鷹町（山形県）	田辺橋	町道田辺寺前線	1980	2015	主桁、床版のひびわれ	全面通行止	架替済
白鷹町（山形県）	太平橋	町道大平橋線	1964	2015	高欄、床版の腐食及び断面欠損	全面通行止	撤去中
遊佐町（山形県）	栄橋	町道白木宮海線	1956	2016	主桁の腐食、鉄筋露出、うき支承の機能障害	全面通行止	撤去予定

■トンネル

○判定区分Ⅳのトンネルの措置状況（予定含む）

管理者	計	管理中			撤去・廃止等 ※1	計
		修繕	撤去・廃止	対応未定		
市町村	1	1	0	0	0	1

※1：判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。
※国土交通省、高速道路会社、県管理のトンネルは健全度Ⅳの施設なし。

○市町村（1 箇所）

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置(2020.3 月末時点)
鶴岡市（山形県）	釜谷坂隧道（かまやざかずいどう）	市道温海釜谷坂線	1954	2018	アーチ部の材質劣化	全面通行止	修繕予定

■道路附属物等（0 施設）

（５） 橋梁・トンネルの建設年度別施設数

■橋梁

建設年度	国土交通省	高速道路会社	県	市町村
1920 以前	0	0	0	5
1921	0	0	0	1
1922	0	0	1	1
1923	0	0	0	4
1924	0	0	3	1
1925	0	0	0	2
1926	0	0	6	7
1927	0	0	7	4
1928	0	0	8	8
1929	0	0	4	5
1930	0	0	7	32
1931	1	0	11	19
1932	0	0	15	12
1933	0	0	7	18
1934	0	0	2	7
1935	0	0	12	19
1936	0	0	5	5
1937	0	0	7	5
1938	0	0	9	6
1939	0	0	8	8
1940	0	0	3	5
1941	1	0	4	5
1942	0	0	1	1
1943	0	0	0	6
1944	0	0	0	1
1945	0	0	0	9
1946	0	0	0	0
1947	0	0	1	5
1948	0	0	0	0
1949	0	0	2	6
1950	0	0	2	21
1951	0	0	3	9
1952	0	0	8	19
1953	0	0	1	13
1954	0	0	7	19
1955	2	0	5	31
1956	2	0	18	22
1957	0	0	10	24
1958	8	0	22	43
1959	5	0	18	52
1960	3	0	17	91
1961	4	0	36	34
1962	15	0	49	54
1963	11	0	42	56
1964	6	0	33	60
1965	20	0	43	114
1966	15	0	39	81
1967	34	0	33	89
1968	39	0	48	143
1969	23	0	64	121
1970	36	0	51	214
1971	41	0	81	168
1972	29	0	113	189
1973	32	0	77	175
1974	15	0	76	140
1975	16	0	48	141
1976	17	0	36	124
1977	20	0	36	116
1978	24	0	56	147
1979	28	0	55	136
1980	15	0	54	231
1981	9	2	63	116
1982	6	0	51	271
1983	11	0	51	124
1984	10	0	45	78
1985	17	1	29	86
1986	7	2	56	81
1987	14	0	36	64
1988	12	14	53	85
1989	4	30	39	88
1990	5	12	31	96
1991	11	14	46	78
1992	16	0	54	113
1993	2	0	30	73
1994	7	2	35	86
1995	2	3	32	70
1996	6	26	39	66
1997	10	54	33	75
1998	26	26	47	57
1999	12	20	28	56
2000	27	7	42	77
2001	23	20	31	67
2002	27	81	22	53
2003	10	0	31	32
2004	25	0	20	51
2005	7	0	13	26
2006	10	0	14	16
2007	17	0	18	20
2008	33	0	13	15
2009	22	1	13	19
2010	20	2	13	9
2011	11	0	15	7
2012	21	2	19	12
2013	15	0	7	10
2014	11	0	11	9
2015	2	0	9	7
2016	4	0	11	17
2017	13	0	8	13
2018	7	0	5	8
2019	0	17	1	2
不明	5	0	7	431
総計	959	336	2,428	5,748

2020.3 末時点

■トンネル

建設年度	国土交通省	高速道路会社	県	市町村
1920 以前	0	0	0	0
1921	0	0	0	0
1922	0	0	0	0
1923	0	0	0	1
1924	0	0	0	0
1925	0	0	0	0
1926	0	0	0	0
1927	0	0	0	0
1928	0	0	0	1
1929	0	0	0	0
1930	0	0	0	0
1931	0	0	1	0
1932	0	0	0	0
1933	0	0	0	0
1934	0	0	0	0
1935	0	0	0	0
1936	0	0	0	0
1937	0	0	0	0
1938	0	0	0	0
1939	0	0	0	0
1940	0	0	0	0
1941	0	0	0	0
1942	0	0	0	0
1943	0	0	0	0
1944	0	0	0	0
1945	0	0	0	0
1946	0	0	0	0
1947	0	0	0	1
1948	0	0	0	0
1949	0	0	0	0
1950	0	0	0	0
1951	0	0	0	0
1952	0	0	1	0
1953	0	0	1	1
1954	0	0	0	1
1955	0	0	0	0
1956	0	0	0	0
1957	0	0	0	0
1958	0	0	0	0
1959	1	0	0	0
1960	0	0	0	0
1961	1	0	0	0
1962	0	0	1	0
1963	0	0	0	0
1964	1	0	0	0
1965	0	0	0	2
1966	2	0	0	0
1967	0	0	1	0
1968	0	0	1	0
1969	0	0	0	0
1970	2	0	0	0

建設年度	国土交通省	高速道路会社	県	市町村
1971	0	0	0	0
1972	3	0	1	0
1973	1	0	1	0
1974	6	0	0	0
1975	2	0	0	1
1976	1	0	1	0
1977	1	0	0	0
1978	0	0	1	0
1979	1	0	1	0
1980	2	0	1	0
1981	1	0	0	0
1982	0	0	1	0
1983	1	0	2	0
1984	2	0	3	0
1985	0	0	2	0
1986	0	0	2	0
1987	0	0	2	0
1988	2	0	3	1
1989	0	0	4	1
1990	1	0	2	1
1991	0	12	2	0
1992	0	0	0	0
1993	0	0	3	0
1994	1	0	0	0
1995	0	0	3	0
1996	0	0	1	0
1997	0	1	2	0
1998	0	5	1	1
1999	1	9	2	3
2000	1	1	0	0
2001	0	0	1	1
2002	1	5	3	1
2003	1	0	1	0
2004	0	0	0	1
2005	1	0	0	0
2006	2	0	1	0
2007	2	0	1	0
2008	0	0	1	0
2009	2	0	0	0
2010	0	0	0	0
2011	2	0	1	0
2012	0	0	0	0
2013	0	0	0	0
2014	0	0	0	0
2015	0	0	0	0
2016	1	0	1	0
2017	0	0	0	0
2018	0	0	0	0
2019	0	7	0	0
不明	0	0	0	0
総計	46	40	57	18

2020.3 末時点

山形県道路メンテナンス会議（構成機関）

山形県県土整備部道路保全課
山形県村山総合支庁建設部道路課
山形県村山総合支庁建設部西村山道路計画課
山形県村山総合支庁建設部北村山道路計画課
山形県最上総合支庁建設部道路計画課
山形県置賜総合支庁建設部道路計画課
山形県置賜総合支庁建設部西置賜道路計画課
山形県庄内総合支庁建設部道路計画課
山形市都市整備部道路整備課・道路維持課
上山市建設課
天童市建設部建設課
山辺町建設課
中山町建設課
寒河江市建設管理課
河北町都市整備課
西川町建設水道課
朝日町建設水道課
大江町建設水道課
村山市建設課
東根市建設部建設課
尾花沢市建設課
大石田町建設課
新庄市都市整備課
金山町環境整備課
最上町建設課
舟形町地域整備課
真室川町建設課
大蔵村地域整備課
鮭川村農村整備課
戸沢村建設水道課
米沢市建設部土木課
南陽市建設課
高畠町建設課
川西町地域整備課
長井市建設課
小国町地域整備課
白鷹町建設水道課
飯豊町地域整備課
鶴岡市建設部土木課
酒田市建設部土木課
三川町建設環境課
庄内町建設課
遊佐町地域生活課
東日本高速道路(株)東北支社
東北地方整備局道路部
東北地方整備局山形河川国道事務所
東北地方整備局酒田河川国道事務所
東北地方整備局福島河川国道事務所
（オブザーバー）
（公財）山形県建設技術センター
東北大学大学院工学研究科
インフラマネジメント研究センター

会　長　東北地方整備局山形河川国道事務所長
副会長　山形県県土整備部道路保全課長
事務局　山形県県土整備部道路保全課
東北地方整備局道路部
東北地方整備局山形河川国道事務所
東北地方整備局東北技術事務所

問い合わせ窓口（事務局）

〇山形県県土整備部道路保全課　メンテナンス担当
電話０２３－６３０－２６０８
〇東北地方整備局山形河川国道事務所　メンテナンス担当
電話０２３－６８８－８９４４（内４０３）